

# **MEE**

受付案内システム

形名

CA-15DS6

CA-15SS6

取扱説明書

コン コン コール  
Computer Conducting Call System

このたびは、受付案内システム「コンコンコール」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、機能・取扱い方法などを十分ご理解の上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

また、ご不明な点につきましては、販売代理店または弊社営業所までご相談ください。

- 本製品をご使用になる前には、必ず「1 1) 安全のために必ず守ること」および「1 2) 使用にあたってのお願い」をよくお読みになり正しくお使いください。

#### 【お願い】

- 本書は、必要に応じていつでもご覧になれるよう大切に保管してください。
- 本書を適用しないで生じた間接障害を含めたいかなる損害についても責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容の一部または全ての無断転載、無断複写は禁止されています。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、お手数ですが弊社営業窓口または、技術的な問合せ窓口までご連絡ください。
- 本書の内容およびシステムを構成する機器、仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、また アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.No servicing is available outside of Japan.

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

V C C I - A

本製品は LAN 部分について電気通信事業者（固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することはできません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ず認証取得済みルータ等を経由し接続してください。

#### 【保証について】

- 本書の注意書きに基づく正常な使用状態のもとで、保証期間内に万一故障し弊社がそれを認めた場合、無償にて故障箇所の修理または交換をいたします。
  - 本製品を正しく安全にご使用いただくため、「1.1) 安全のために必ず守ること」を必ずお守りください。
- これらの注意事項に反した取扱いにより生じた損害について、当社は責任と保証を致しかねます。

# 目次

|          |                              |           |
|----------|------------------------------|-----------|
| <b>1</b> | <b>ご使用になる前に</b>              | <b>1</b>  |
| 1)       | 安全のために必ず守ること                 | 1         |
| 2)       | 使用にあたってのお願い                  | 3         |
| ◆        | 設置場所についての注意                  | 3         |
| ◆        | 使用時の注意                       | 3         |
| ◆        | システム使用許諾契約について               | 3         |
| ◆        | 寿命について                       | 3         |
| ◆        | 保守バックについて                    | 3         |
| 3)       | コンコンコールとは                    | 3         |
| 4)       | 使用前の準備                       | 4         |
| ◆        | 必ず用意するもの                     | 4         |
| ◆        | 構内 LAN に接続する場合               | 4         |
| ◆        | 接点出力を使用する場合 (スペシャルプラン)       | 4         |
| ◆        | あると便利なもの                     | 4         |
| 5)       | 画面構成と操作方法                    | 5         |
| 6)       | 画面遷移図                        | 8         |
| <b>2</b> | <b>起動と終了</b>                 | <b>9</b>  |
| 1)       | システムの起動・終了方法                 | 9         |
| 2)       | メインプログラムの起動・終了方法             | 9         |
| 3)       | 自動起動・自動終了                    | 9         |
| 4)       | 画面の3点タッチ (システムメニュー)          | 10        |
| 5)       | 管理メニュー                       | 11        |
| <b>3</b> | <b>初期設定</b>                  | <b>12</b> |
| 1)       | システムの保護について                  | 12        |
| ◆        | システムの保護の無効化                  | 12        |
| ◆        | システムの保護の有効化                  | 12        |
| 2)       | ネットワーク設定                     | 13        |
| 3)       | 音量の調整                        | 13        |
| 4)       | 電話回線のダイヤル方式がパルスの場合           | 13        |
| 5)       | 人感センサー反応速度の調節                | 14        |
| 6)       | 動体検知感度調整                     | 14        |
| 7)       | 統合サーバーの設定 (スペシャルプラン)         | 15        |
| 8)       | 通話履歴と内蔵カメラ映像の保存設定 (スペシャルプラン) | 16        |
| 9)       | 来訪予約の設定 (来訪予約オプション)          | 17        |
| <b>4</b> | <b>自動起動・自動終了時刻の設定</b>        | <b>18</b> |
| 1)       | スケジュール運転管理画面                 | 18        |
| 2)       | スケジュールの編集                    | 20        |
| 3)       | 注意点                          | 21        |
| ◆        | 24 時間運転する場合                  | 21        |
| ◆        | システム停止時の停電または瞬時停電            | 21        |
| ◆        | システム停止時の起動                   | 21        |
| ◆        | 時計補正のお願い                     | 21        |

|          |                            |           |
|----------|----------------------------|-----------|
| <b>5</b> | <b>連絡先データの登録・修正方法</b>      | <b>22</b> |
| 1)       | データメンテナンス ツール              | 22        |
| 2)       | 連絡先データの新規登録                | 25        |
| 3)       | 連絡先データの登録内容変更              | 25        |
| 4)       | 連絡先データの表示順・階層変更            | 26        |
| 5)       | 連絡先データの削除                  | 27        |
| 6)       | 連絡先データの保存                  | 27        |
| 7)       | 更新日時を予約する                  | 27        |
| 8)       | 更新予約日時の管理                  | 27        |
| 9)       | テキストファイル出力                 | 28        |
| 10)      | テキストファイル入力                 | 29        |
| 11)      | 組織選択画面を使用する                | 30        |
| 12)      | Excel ファイルから部門・担当者データを取り込む | 32        |
| <b>6</b> | <b>担当者のパソコンでできること</b>      | <b>34</b> |
| 1)       | 連絡先データ編集ツール                | 35        |
| 2)       | メンテナンスツール                  | 37        |
| 3)       | 映像ポップアップ (スペシャルプラン)        | 40        |
| 4)       | 通話履歴閲覧 (スペシャルプラン)          | 43        |
| 5)       | 来訪予約 (来訪予約オプション)           | 46        |
| <b>7</b> | <b>データのバックアップ／復旧</b>       | <b>51</b> |
| 1)       | バックアップ                     | 51        |
| 2)       | 復旧                         | 51        |
| <b>8</b> | <b>こんなとき</b>               | <b>52</b> |
| 1)       | 文字を入力する(ソフトウェアキーボード)       | 52        |
| 2)       | 右クリック操作をする                 | 52        |
| 3)       | タッチ位置を補正する(キャリブレーション)      | 53        |
| 4)       | お手入れ                       | 54        |
| ◆        | 外装清掃時                      | 54        |
| ◆        | タッチパネル清掃時                  | 54        |
| 5)       | 「故障かな？」と思ったら               | 55        |
| ◆        | 起動に関するトラブル                 | 55        |
| ◆        | 動作に関するトラブル                 | 55        |
| <b>9</b> | <b>付録</b>                  | <b>56</b> |
| 1)       | 保証とアフターサービス                | 56        |
| ◆        | お問い合わせ先                    | 56        |
| ◆        | 保証書について                    | 56        |
| 2)       | 仕様                         | 57        |
| ◆        | ハードウェア仕様                   | 57        |
| ◆        | ソフトウェア仕様                   | 58        |

# 1 ご使用になる前に

## 1) 安全のために必ず守ること

◆ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



### 警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



禁止

可燃性、爆発性ガスまたは蒸気のある場所では使用しない。  
(爆発や火災の原因になります)



禁止

電子機器の使用が制限または禁止されている場所（病院など）では使用しない。  
(電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因になります)



禁止

開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしない。  
(火災や感電の原因になります)



水濡れ  
禁止

製品に水をかけたりしない。  
(火災や感電の原因になります)



厳守

発煙、異音・異臭がしたらすぐに電源プラグをコンセントから抜く。  
(異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災等の原因になります)



厳守

交流100Vを使用する。  
(交流100V以外を使用すると、発熱による火災の原因になります)



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
(感電することがあります)



分解禁止

本製品を分解・改造・修理しない。  
(火災・感電・けがの原因になります)



禁止

落雷時はモジュラケーブルや通信ケーブルに手を触れない。  
(感電することがあります)



禁止

下記目的のために使用しない。  
核施設・航空機の航空制御もしくは離着陸の管制システム・自動車やバスの運転・船舶の航行・生命維持装置のような、生命・身体・健康に影響をおよぼす環境下における、オンライン制御装置



## 注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの



禁止

以下のような場所で使用しない。

- ・ 狭く熱のこもる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 湿気やホコリが多い場所
- ・ 温度差の激しい場所
- ・ 熱器具に近い場所
- ・ 水気の多い場所
- ・ 振動や衝撃が加わる場所
- ・ 不安定な場所
- ・ 強い磁力電波が発生するものに近い場所



禁止

タッチパネルに衝撃や過度の力を与えない。  
(ガラスが破損してけがの原因になります)

万が一液晶パネルが破損した場合、内部の液体に触れた手で目をこすらないでください。内部の液体が目に入った場合は、すぐに流水で15分洗浄した後、医師にご相談ください。



禁止

接続線をつけたまま移動しない。  
(転倒によりけがをすることがあります)



電源プラグ  
を抜く

電源プラグを持って抜く。  
(コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります)



厳守

電源プラグのほこりなどは定期的にとる。  
(漏電火災の原因になります)



電源プラグ  
を抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く。  
(感電することがあります)



禁止

他の機器と接続しない。(電源・交換機(内線)・LAN・セキュリティ制御装置のみ接続可)

## 2) 使用にあたってのお願い

### ◆ 設置場所についての注意

以下のような場所で使用しないでください。

- ・ 狭く熱のこもる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 湿気やホコリが多い場所
- ・ 温度差の激しい場所
- ・ 熱器具に近い場所
- ・ 水気の多い場所
- ・ 振動や衝撃が加わる場所
- ・ 不安定な場所
- ・ 強い磁力電波が発生するものに近い場所

### ◆ 使用時の注意

以下の項目を守り、正しくお使いください。

- ・ 交流100Vを使用する
- ・ 他の機器と接続しない（電源・交換機（内線）・LAN・セキュリティ制御装置のみ接続可）
- ・ 本製品を分解・改造しない
- ・ お手入れの際に電源を切る
- ・ 製品を移動する場合は電源を切り、接続を外す

### ◆ システム使用許諾契約について

受付案内システムはお客様と弊社との間で、システム使用許諾契約を締結することによって、ご利用になります。システム使用許諾契約の内容については、本書の最後に記載されておりますので、必ずお読みください。ご同意いただいた場合に限り、ご使用の開始ができます。

### ◆ 寿命について

設計寿命は、特に指定のない場合、週日(週日とは土・日・休日を除く平日)12時間使用で約6年です。

但し、ご使用場所の環境や運転時間などにより、早期の部品交換が必要となる場合があります。

また、製品に使用している構成部品には、定期的に交換が必要な部品や、場合によりオーバーホールが必要な部品があります。(バックライト、時計機能用ボタン電池)

### ◆ 保守パックについて

保守パック付製品をご購入いただきまたお客様は、追加料金なしで一定期間、保守・サポートいたします。

保守パックは、パック付製品として販売しており、製品ご購入後に保守パック単独でのご購入はできません。

詳しくは当社営業窓口またはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

## 3) コンコンコールとは

コンコンコールはオフィス内での受付業務を代行するシステムです。

来訪者は画面およびガイダンスに従い、画面をタッチするだけで目的の担当者と受話器を通じて会話を行うことができます。

画面にはメッセージ(会社名等)を表示したり、来客が無い状態ではBGM(バックグラウンドミュージック)を流すことができ、企業イメージのアップなどに効果があります。

## 4) 使用前の準備

### ◆ 必ず用意するもの

- 電源コンセント(AC100V)
  - ✓ オプションの入館票発行を使用する場合は、発行機用にもう1口準備してください。
- アナログ式(2 芯)の内線用電話回線 (端末処理:RJ11 コネクタまたは RJ11 ローゼット)
  - ✓ デジタル内線の場合、電話交換機にアナログカードまたはデジタル→アナログ変換アダプターを追加することで対応できます。
  - ✓ IP電話の場合、VoIPアダプターまたはVoIPゲートウェイを追加することで対応できます。
- プラスドライバー 1 本
  - ✓ コネクタカバーの取り外し・取り付けに使用します。

### ◆ 構内 LAN に接続する場合

- 構内LAN回線からのLANケーブル 1 本 (端末処理:RJ45 コネクタ)
  - ✓ LAN経由でのデータメンテナンスが利用できます。
  - ✓ オプションの入館票発行を使用する場合で発行機を LAN に接続する場合は、もう1本準備してください。

### ◆ 接点出力を使用する場合(スペシャルプラン)

- 制御装置からの接点信号線 2 芯 1 本 (端末処理:被覆剥き 11mm)  
単線:  $\phi 0.4 \text{ mm} \sim \phi 1.2 \text{ mm}$ (AWG26~AWG16)  
撚線:  $0.2 \text{ mm}^2 \sim 1.25 \text{ mm}^2$ (AWG24~AWG16)素線径  $\phi 0.18 \text{ mm}$ 以上

### ◆ あると便利なもの

- データのメンテナンスに使用するパソコン1台  
(製品本体でデータのメンテナンスをする場合は必要ありません)
- USBで接続するメモリー1個  
(製品本体または LAN 経由でデータのメンテナンスをする場合は必要ありません)
- USB キーボード  
(製品本体でデータのメンテナンスをする場合以外は必要ありません)

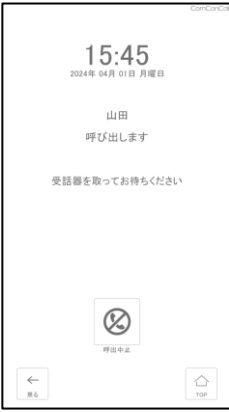
## 5) 画面構成と操作方法

ここでは標準コンテンツを例にコンコンコールの画面構成と操作方法を説明します。各画面の色調は筐体色に合わせて標準設定されますが、2種類の色調から選択可能です。

各画面は人感センサーの検知がなく、タッチ操作がない状態が一定時間続くとスタート画面に戻ります。

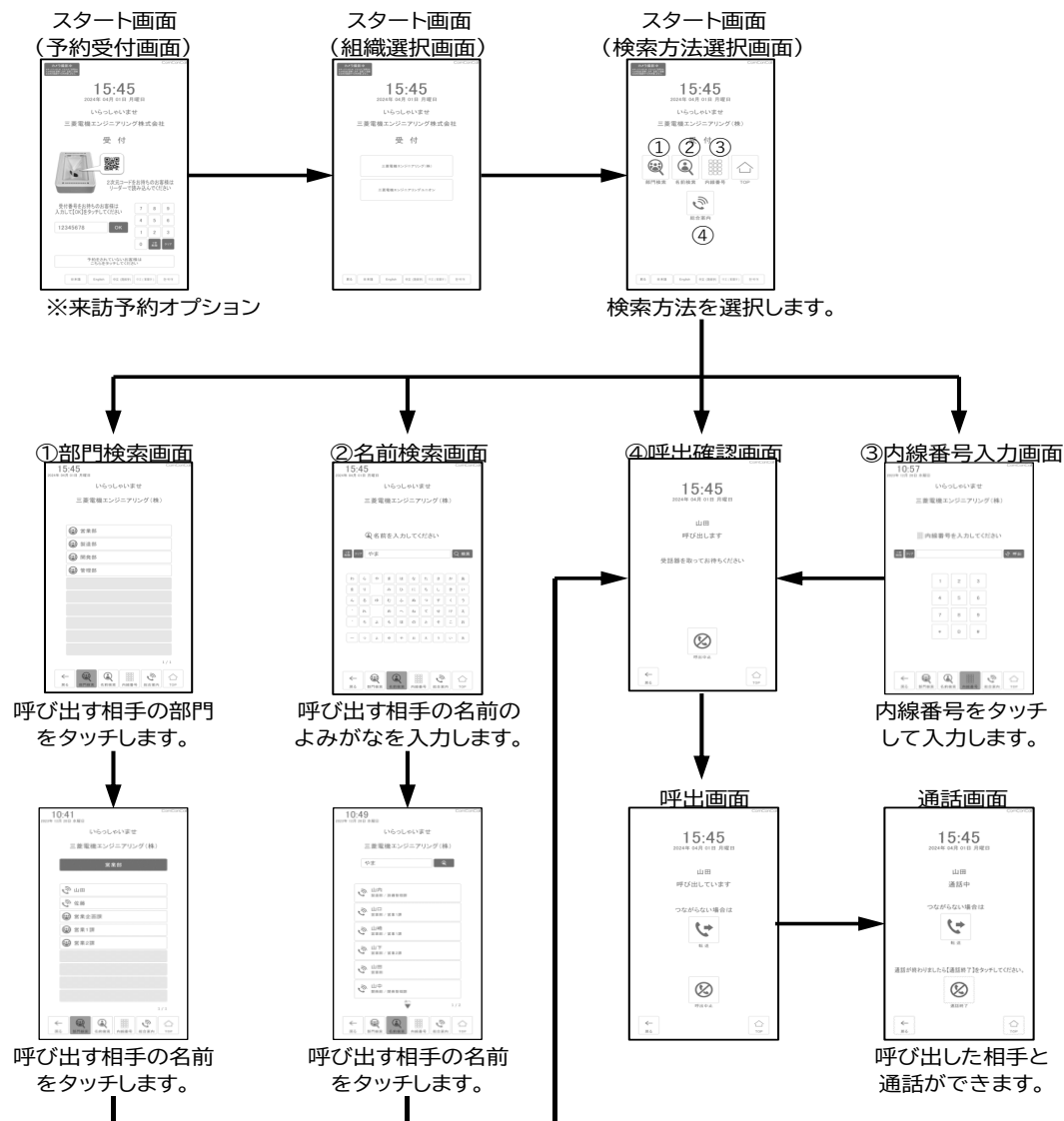
|                      | ホワイト調 | ブラック調 | 説明                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------|-------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 起動画面                 |       |       | 起動画面中央にコンコンコールの起動状況が表示されます。<br>起動後はスタート画面から始まります。                                                                                                                                                                                                 |
| (予約受付画面)<br>スタート画面   |       |       | 来訪予約オプション利用時に表示されます。<br>BGM が再生されます。<br>人感センサーの検知でアナウンス「いらっしゃいませ。」が再生されます。<br>数字入力ボタンをタッチして受付番号を入力し、「OK」をタッチすると呼出画面に変わります。<br>入力した受付番号は「1字削除」で一文字削除、「クリア」で全て削除することができます。<br>画面下部の言語ボタンをタッチすると操作言語を切り替えます。                                         |
| (組織選択画面)<br>スタート画面   |       |       | 複数組織登録時に表示されます。<br>BGM が再生されます。<br>人感センサーの検知でアナウンス「いらっしゃいませ。ご訪問先をお選びください。」が再生されます。<br>訪問先の組織をタッチすると検索方法選択画面に変わります。<br>画面下部の言語ボタンをタッチすると操作言語を切り替えます。                                                                                               |
| (検索方法選択画面)<br>スタート画面 |       |       | BGM が再生されます。<br>人感センサーの検知でアナウンス「いらっしゃいませ。画面に軽くタッチしてください。」が再生されます。<br>「部門検索」をタッチすると部門検索画面に変わります。<br>「名前検索」をタッチすると担当者の名前検索画面に変わります。<br>「内線番号」をタッチすると内線番号入力画面に変わります。<br>「総合案内」をタッチすると呼出画面に変わり、庶務(総務)部門などの代表を呼び出します。<br>画面下部の言語ボタンをタッチすると操作言語を切り替えます。 |

|          | ホワイト調 | ブラック調 | 説明                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----------|-------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部門検索画面   |       |       | <p>アナウンス「ご訪問先をお選びください。」が再生されます。</p> <p>コンコンコールに登録されている連絡先の一覧が表示されます。</p> <p>連絡先の一覧で下階層に登録がある連絡先(組織アイコンが表示されています)をタッチすると下階層の連絡先の一覧を表示します。呼び出しできる連絡先(電話アイコンが表示されています)をタッチすると呼出画面に変わります。</p> <p>連絡先が1画面に収まらない場合には上下の「▲」・「▼」をタッチすることで残りの連絡先を表示させることができます。</p> |
| 名前検索画面   |       |       | <p>アナウンス「名前を入力して検索ボタンをタッチしてください。」が再生されます。</p> <p>文字入力ボタンをタッチしてコンコンコールに登録されている連絡先のフリガナを入力し、「検索」をタッチすると名前一覧画面に変わります。入力したフリガナは「1字削除」で一文字削除、「クリア」で全て削除することができます。</p>                                                                                          |
| 名前一覧画面   |       |       | <p>アナウンス「ご訪問先をお選びください。」が再生されます。</p> <p>名前検索画面で入力されたフリガナにマッチする連絡先の一覧が表示されます。下階層に登録がある連絡先(組織アイコンが表示されています)をタッチすると下階層の連絡先の一覧を表示します。呼び出しできる連絡先(電話アイコンが表示されています)をタッチすると呼出画面に変わります。</p> <p>連絡先が1画面に収まらない場合には上下の「▲」・「▼」をタッチすることで残りの連絡先を表示させることができます。</p>         |
| 内線番号入力画面 |       |       | <p>アナウンス「番号の後に続けて呼び出しをタッチしてください。」が再生されます。</p> <p>数字入力ボタンをタッチして内線番号を入力し、「呼出」をタッチすると呼出画面に変わります。</p> <p>入力した内線番号は「1字削除」で一文字削除、「クリア」で全て削除することができます。</p>                                                                                                       |

|        | ホワイト調                                                                               | ブラック調                                                                               | 説明                                                                                                                                                                                                   |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 呼出確認画面 |    |    | <p>アナウンス「受話器をお取りください。」が再生されます。(予め受話器を取っている場合は再生されません。)</p> <p>呼び出そうとする連絡先の情報が表示されます。(この時点ではまだ電話の呼び出しは行われていません。)</p> <p>受話器を取ると呼出画面が表示されます。</p>                                                       |
| 呼出画面   |   |   | <p>アナウンス「ただいま呼び出しております。しばらくお待ちください。」が再生され、連絡先への呼出が始まります。</p> <p>呼び出し先の電話のベルが鳴り始めると通話画面に変わります。</p> <p>「呼出中止」をタッチすると呼び出しを中断して一つ前の画面に戻ります。</p>                                                          |
| 通話画面   |  |  | <p>呼び出した連絡先の情報が表示されます。</p> <p>呼び出し先が電話に出ない場合、「転送」をタッチすることで登録されている次の内線番号を呼び出します。</p> <p>受話器を置くか「通話終了」をタッチすると通話を終了しスタート画面に戻ります。</p> <p>タッチ操作も行われず人感センサーの検知もない状態が 30 分以上経過すると強制的に通話を終了しスタート画面に戻ります。</p> |

**参考：** 画面に表示される文字・ボタンの色の変更、一定時間経過後の画面が戻る時間の変更、背景や BGM の変更等はコンコンコール システムメンテナンスで行うことができます。詳細は「カスタマイズ説明書」を参照してください。

## 6) 画面遷移図



- 各画面の最下部[戻る]ボタンで1つ前の画面へ
- 各画面の最下部の検索方法選択ボタンで各検索画面へ
- 各画面の[TOP]ボタンまたは一定時間無操作で「スタート画面」へ

## 2 起動と終了

### 1) システムの起動・終了方法

本製品はシステムの設定により、電源が供給された時点で起動する設定となっています。

#### ・ 起動方法

コンセントに電源プラグを差し込んでください。

(すでにコンセントに差さっている場合は、一旦抜いてから差し込んでください。)

**お願い:** 起動時に電話回線の状態確認が行われますので、必ず電話回線を接続して起動してください。

#### ・ 終了方法

電源プラグを抜いてください。

(本製品はハードディスクを使用していないため、システムの保護が有効であれば、電源供給を遮断することで端末を終了できます。システムの保護については「**3 1) システムの保護について**」を参照してください。)

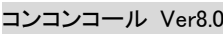
**お願い:** 電源供給の遮断による終了は必ずシステムの保護が有効化された状態で行ってください。(「**3 1) システムの保護について**」参照) また、データの書き込みを行っていないことを確認して終了してください。書き込み中に電源が切断されると、ドライブのファイルシステムやデータが破壊される恐れがあります。

### 2) メインプログラムの起動・終了方法

登録データの編集やシステムの設定を行う際には、メインプログラムを終了し Windows 画面で操作を行います。

#### ・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(  )を実行し、  
 コンコンコール メイン を選択します。
- Windowsのスタートメニューから  コンコンコール Ver8.0 メイン を選択します。

**お願い:** 起動時に電話回線の状態確認が行われますので、必ず電話回線を接続して起動してください。

#### ・ 終了方法

画面の3点タッチ(システムメニュー)から  Windowsに戻る を選択します。

画面の3点タッチ(システムメニュー)については、「**2 4) 画面の3点タッチ(システムメニュー)**」を参照してください。

**参考:** キーボードを接続している場合はキーボードの[Esc]キーでメインプログラムを終了させることができます。

### 3) 自動起動・自動終了

スケジュール運転管理プログラムにより設定時刻に起動・終了を行います。

スケジュール運転管理プログラムについては、「**4 自動起動・自動終了時刻の設定**」を参照してください。

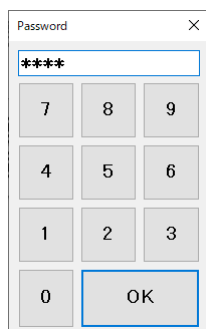
**参考:** スケジュール運転管理では、モニターを OFF にすることでシステムの停止を行っています。システム停止中に停電または瞬時停電等で電源供給が遮断され、その後再度電源が供給された場合には設定時刻に関係なく一時的にシステムが起動しますが、自動的にシステム停止状態となります。

## 4) 画面の3点タッチ(システムメニュー)

画面の3隅をタッチし、パスワードを入力することでデータの取り込み、プログラムの終了等の操作ができます。



- ① 各画面で3隅を順にタッチするとパスワード入力画面が開きます。  
パスワード入力画面が表示されない場合は再度、順にタッチしてみてください。
- ② パスワードの初期値は「9999」に設定してありますので「9999」を入力し、**OK** をクリックします。



- ③ システムメニュー画面が開きますので目的の項目を選択してください。

**連絡先データ取り込み** 連絡先データの取り込みを行います。

**Windows に戻る** ……………コンコンコールのプログラムを終了し、Windows 画面に戻ります。

**停止** ……………システムを停止します。

**停止解除** ……………システムの停止を解除します。(停止状態の時に表示されます)

**再起動** ……………システムの再起動を行います。

**電源 OFF** ……………システムの電源を切ります。(スケジュール運転管理の環境設定にて「電源 OFF を有効にする」にチェックが入っている場合に有効になります)

**現在日時の調整** ……………現在日時の変更ができます。

**Password の変更** ……………パスワードの変更ができます。

**キャンセル** ……………コンコンコール画面に戻ります。

**参考:** 変更したパスワードはシステム設定に保存されます。システム設定の詳細は「カスタマイズ説明書」を参照してください。

## 5) 管理メニュー

メインプログラムの起動や、登録データの編集・システムの設定を行うプログラムを起動します。

### ・ 起動方法

Windows 画面にて以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(  )を実行します。
- Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver8.0** - **コンコンコール Ver8.0 管理メニュー** を選択します。



|                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| <b>コンコンコール メイン</b>        | メインプログラムを起動します。   |
| <b>コンコンコール データメンテナンス</b>  | データメンテナンスを起動します。  |
| <b>コンコンコール スケジュール運転管理</b> | スケジュール運転管理を起動します。 |
| <b>コンコンコール 通話履歴閲覧</b>     | 通話履歴閲覧を起動します。※1   |
| <b>コンコンコール システムメンテナンス</b> | システムメンテナンスを起動します。 |
| <b>コンコンコール 来訪予約設定</b>     | 来訪予約の設定画面を開きます。※2 |
| <b>コンコンコール 動体検知感度調整</b>   | 動体検知感度調整を起動します。   |
| <b>システム再起動</b>            | システムを再起動します。      |
| <b>閉じる</b>                | 管理メニュー画面を閉じます。    |

※1: スペシャルプランの機能です。 ※2: 来訪予約オプションの機能です。

最下段のメッセージ「システムは保護されています」はシステムの保護の状態を表します。

システムの保護の詳細については「**3 1) システムの保護について**」を参照してください。

## 3 初期設定

### 1) システムの保護について

本端末はシステムドライブにプロテクトをかけ Windows のシステム関連の設定が保存されないようシステムの保護を行っています。そのためシステムの保護が有効化された状態で変更した内容は、システムの再起動時に破棄され元の状態に戻りますので注意してください。

Windows のシステム関連の設定を変更し保存する場合はシステムの保護を無効化する必要があります。

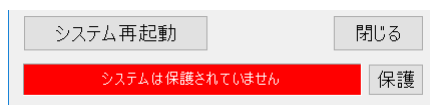
なおコンコンコールで使用するデータ領域 (C:\Program Files (x86)\ComConCall\Datas) はシステムの保護の対象から除外されていますので、システムの保護が有効化された状態でも変更内容は保存され、再起動によって元の状態に戻ることはありません。

#### ◆ システムの保護の無効化

- ① 管理メニューの「システムは保護されています」の部分をダブルクリックするとメニューが表示されます。(マウスを接続している場合は右クリックでもメニューを表示できます)
- ② **無効化** をクリックすると「再起動後システム保護が解除されます」の表示に変わります。

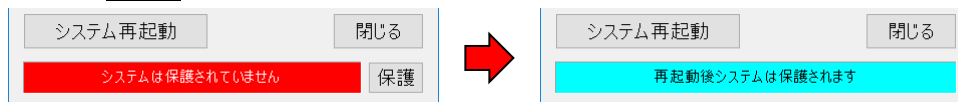


- ③ **システム再起動** をクリックし再起動します。再起動後「システムは保護されていません」の表示に変わります。

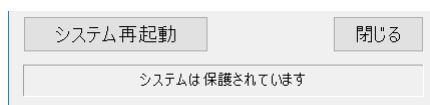


#### ◆ システムの保護の有効化

- ① 管理メニューの **保護** をクリックすると「再起動後システムは保護されます」の表示に変わります。



- ② **システム再起動** をクリックし再起動します。再起動後「システムは保護されています」の表示に変わります。



**お願い：** Windows のシステム関連の設定を変更する時以外は、システムファイルの破損を防ぐため、システムの保護を有効化した状態で使用してください。

## 2) ネットワーク設定

ネットワークに接続しない場合は設定する必要はありません。

本製品は OS に Windows 10 IoT Enterprise を採用していますので、基本的に Windows 10 と同様の手順で設定を行ってください。

### ・ 固定IPアドレスを設定する場合

- ① システムの保護を無効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)
- ② Windows のスタートメニューから  をクリックして「Windows の設定」を開き、「ネットワークとインターネット」を開きます。
- ③ 「アダプターのオプションを変更する」をクリックして表示されたネットワーク接続の一覧から「ローカルエリア接続」をダブルクリックして開きます。
- ④  プロパティ(P) をクリックして「ローカルエリア接続のプロパティ」ウィンドウの「この接続は次の項目を使用します (O):」の一覧から「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、 プロパティ(R) をクリックします。
- ⑤ IP アドレス・サブネットマスク等を入力して  OK をクリックし、「コントロールパネル」を閉じます。
- ⑥ システムの保護を有効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)

**お願い：** お手持ちのパソコンとコンコンコールをネットワーク接続する際は、LAN ケーブルでの直結は避け、途中に LAN のハブを介すなどしてください。LAN ケーブルで直結するとネットワーク接続が不安定になり、ポップアップ画像(オプション)が映らないことがあります。

## 3) 音量の調整

- ① システムの保護を無効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)
- ② Windows 画面でタスクトレイ上のスピーカーアイコンをクリックして音量を調整します。



- ③ システムの保護を有効化します。(「3 1) システムの保護について」参照)

## 4) 電話回線のダイヤル方式がパルスの場合

本製品は出荷時ダイヤル方式がトーンに設定してあります。ダイヤル方式がパルスの場合、以下の設定を行ってください。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、 コンコンコール システムメンテナンス を選択します。
- ② 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の名前欄が「LineAssortment」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ③ 値を「DP10」または「DP20」に変更して  OK をクリックし、システムメンテナンスを終了します。

## 5) 人感センサー反応速度の調節

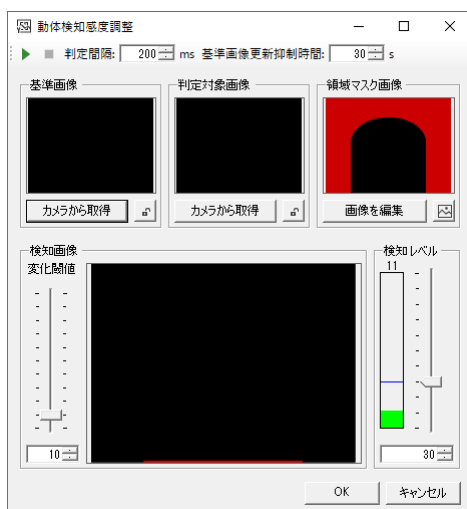
来客に対して人感センサーがなかなか反応しない場合や、人が通り過ぎただけで反応してしまうような場合、適切な値に調節して下さい。工場出荷時の値は 20 です。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(人感センサー)を実行し、  
 コンコンコール システムメンテナンス を選択します。
- ② 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の Name 欄が「SensorSensitivity」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ③ 来客を検知するまでの時間をミリ秒単位で設定して **OK** をクリックし、システムメンテナンスを終了します。0 に設定した場合は人感センサーが無効の状態となります。

## 6) 動体検知感度調整

本製品では人感センサーとして内蔵カメラによる動体検知を行っております。設置場所の環境により内蔵カメラで撮影される映像の変化が大きく、来客が無い状態でも反応してしまう場合には以下の設定を行ってください。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(人感センサー)を実行し、  
 コンコンコール 動体検知感度調整 を選択します。
- ② 「動体検知感度調整」ウィンドウで最適な状態に調整し、**OK** をクリックして設定を保存します。  
「動体検知調整」ウィンドウの調整項目は以下のとおりです。



 ..... 動体検知状態のテストを行います。設定された内容に従い連続して検知レベルを更新します。

判定間隔 ..... 動体検知状態を判定する時間間隔を設定します。

基準画像更新抑制時間 ..... 荷物が置かれたり什器が移動されたりした場合にそれが来客ではないと判断し基準画像を更新するまでの時間を設定します。

基準画像 ..... 来客の有無を判定するカメラ画像と比較する無人時のカメラ画像です。

判定対象画像 ..... 来客の有無を判定するカメラ画像です。

領域マスク画像 ..... 頻繁に画像が変化する部分(道路やサイネージ画面等)を判定対象から除外するマスク画像です。

検知画像 ..... 基準画像と判定対象画像を比較し、変化した部分の画像です

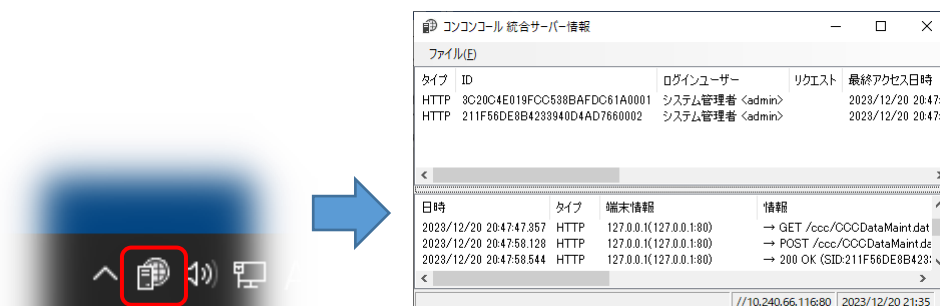
変化閾値 ..... 基準画像と判定対象画像を比較する際に変化したと判断する変化量です。

検知レベル ..... 検知画像で変化した部分がどの程度あるかを示す値です。この値が指定されたレベルを超えた場合に来客として検知されます。

## 7) 統合サーバーの設定 (スペシャルプラン)

コンコンコール本体の WEB ページの配信や担当者のパソコンにインストールされた「メッセージポップアップ」の制御を行うサーバー機能をお客様の環境や運用形態に合わせて設定を行ってください。

- ① Windows 画面でタスクトレイ上の統合サーバーアイコンをダブルクリックしてステータス画面を表示します。



- ② メニューバーから **ファイル(F) - 設定(S)...** を選択します。

- ③ 設定画面と各項目の説明は以下のとおりです。

The '設定' dialog box is divided into two panes. The left pane, 'メッセージポップアップ設定', contains: '受信ポート' (5557), '端末ポート' (5556), '管理者設定' with '管理者ユーザーID' (admin) and '管理者パスワード' (masked), and 'セッションタイムアウト(秒)' (3600). The right pane, 'WEBサーバー設定', contains: '受信ポート' (80), '管理用ホームURL' (/ccc/), and 'WEBページフォルダ' (WebPage). 'OK' and 'キャンセル' buttons are at the bottom.

項目

説明

### メッセージポップアップ設定

受信ポート

端末のメッセージポップアップから接続される TCP ポート番号を設定します。(規定値:5557)

端末ポート

端末へ接続する TCP ポート番号の規定値を設定します。  
(規定値:5556)

### WEB サーバー設定

受信ポート

端末の Web ブラウザーから接続される TCP ポート番号を設定します。(規定値:80)

セッションタイムアウト(秒)

管理用 WEB ページにログインしてから強制的にログアウトするまでの無操作時間(秒)を設定します。(規定値:3600)

管理用ホーム URL

管理用 WEB ページのホームページ URL を指定します。  
(規定値:/ccc/)

WEB ページフォルダ

WEB ブラウザーからアクセスされるページソースを格納するローカルフォルダのパスを指定します。相対パスが指定された場合、アプリケーションの規定データフォルダの下層となります。  
(例:「WebPage」と設定した場合、絶対パスは C:\Program Files (x86)\ComConCall\Datas\WebPage となります)  
(規定値:WebPage)

| 項目           | 説明                                                        |
|--------------|-----------------------------------------------------------|
| <b>管理者設定</b> |                                                           |
| 管理者ユーザーID    | 管理者として管理用 WEB ページにアクセスするユーザーの ID を設定します。(規定値:admin)       |
| 管理者パスワード     | 管理者として管理用 WEB ページにアクセスするユーザーのパスワードを設定します。(規定値:ComConCall) |

## 8) 通話履歴と内蔵カメラ映像の保存設定 (スペシャルプラン)

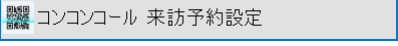
通話履歴のデータベースのファイル名と内蔵カメラ映像を保存するフォルダー名を設定します。

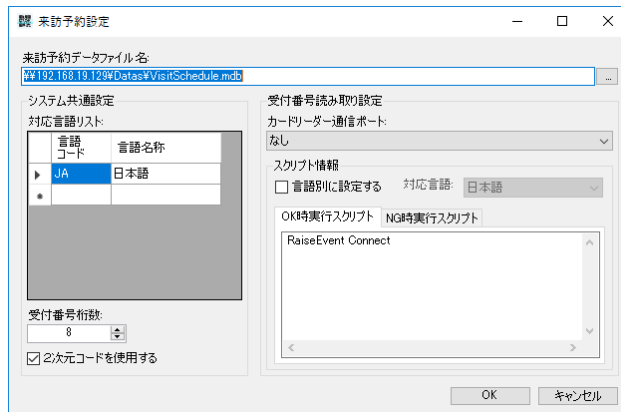
複数の担当者のパソコンから参照されことや、保存するデータの容量が大きくなることが予想されることから、保存先は空き容量に余裕のあるファイルサーバー等を設定することをお勧めします。なお保存データの容量の目安は 1.5GB/年(100 件/日×250 日)です。

- ① デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン()を実行し、  
 コンコンコール システムメンテナンス を選択します。
- ② 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の Name 欄が「CallLogDBFilename」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ③ 通話履歴を保存するデータベースのファイル名を指定して  をクリックします。
- ④ 登録情報フォルダーの「Forms」フォルダーを選択し、登録内容一覧の Name 欄が「Initialize」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。
- ⑤ Activate タブの「Set RecordCameraImage False」と書かれた行を「Set RecordCameraImage True」に書き換えます。
- ⑥ 登録情報フォルダーの「Settings」フォルダーを選択し、登録内容一覧の Name 欄が「StoragePath」と設定されているデータをダブルクリックで開きます。もし見つからない場合はデータを新規作成します。
- ⑦ 内蔵カメラ映像を保存するフォルダー名を指定して  をクリックします。

## 9) 来訪予約の設定 (来訪予約オプション)

来訪予約を利用するための設定を行います。

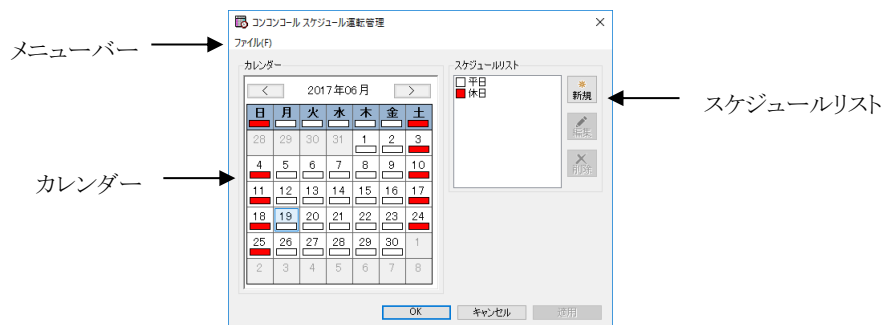
- ① デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(  )を実行し、  
 を選択します。
- ② 設定画面と各項目の説明は以下のとおりです。



| 項目           | 説明                                                                                          |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 来訪予約データファイル名 | 来訪予約データを保存するデータベースのファイル名を指定します。<br>複数の担当者のパソコンから参照されることから保存先はファイルサーバー等を設定することをお勧めします。       |
| システム共通設定     |                                                                                             |
| 対応言語リスト      | 利用する言語のリストを登録します。                                                                           |
| 受付番号桁数       | 受付番号の桁数を指定します。総桁数のうち 2 桁はチェック用として使用します。受付番号が枯渇しない桁数+2 を指定してください。                            |
| 2次元コードを使用する  | 2次元コードリーダーを利用する場合に選択します。                                                                    |
| 受付番号読み取り設定   |                                                                                             |
| カードリーダー通信ポート | 2次元コードリーダーを接続した通信ポートを指定します。                                                                 |
| スクリプト情報      | 読み取り結果に応じて実行するコンコンコールのスクリプトを指定します。言語ごとに実行するスクリプトを変更する場合は「言語別に設定する」を選択し、言語ごとのスクリプトを指定してください。 |

## 4 自動起動・自動終了時刻の設定

### 1) スケジュール運転管理画面



#### ・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(🖱️)を実行し、  
 を選択します。
- Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver8.0** - **コンコンコール Ver8.0 スケジュール運転管理** を選択します。

#### ・ メニューバー

ファイル(F)

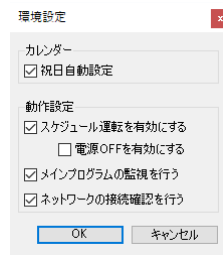
環境設定(S)... ..... 環境設定画面を開きます。

外部データベース書き出し(W)... ..... 設定されている内容をデータベースファイルに出力します。

外部データベース読み込み(R)... ..... データベースファイルの内容を取り込みます。

終了(X) ..... スケジュール運転管理を終了します。終了した場合、スケジュール運転は行われなくなります。

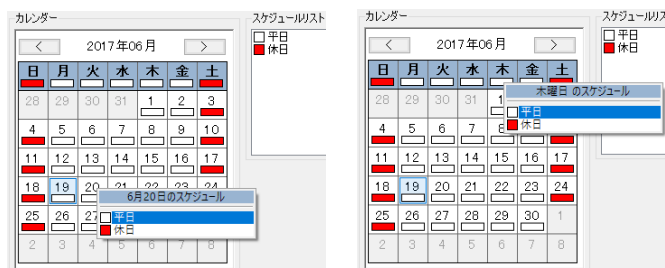
・ 環境設定



| 項目             | 説明                                                  |
|----------------|-----------------------------------------------------|
| カレンダー          |                                                     |
| 祝日自動設定         | 祝日を自動で休日に設定します。(平成 30 年改正の国民の祝日に関する法律により祝日を設定しています) |
| 動作設定           |                                                     |
| スケジュール運転を有効にする | スケジュール運転の有効・無効を設定します。                               |
| 電源 OFF を有効にする  | スケジュールの停止時刻にシステムのシャットダウンを行います。次回起動する場合は電源の再供給が必要です。 |
| メインプログラムの監視を行う | メインプログラムの稼働状況を監視し、動作不良が見つかった場合にメインプログラムを再起動します。     |
| ネットワークの接続確認を行う | システムのネットワーク接続状況を確認し、接続不良があった場合にシステムを再起動します。         |

・ カレンダー

日付の下の色は、スケジュールリストでどのスケジュールを選択しているかを表します。  
曜日または日付をクリックすることで、スケジュールリストのスケジュールを選択できます。



・ スケジュールリスト

スケジュールの一覧です。スケジュールの編集・作成を行います。

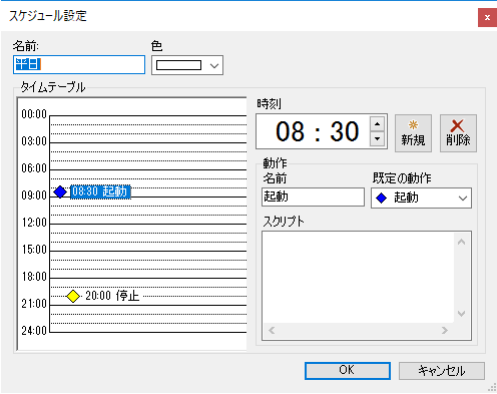


-  ..... スケジュールを新規作成します。
-  ..... 選択されているスケジュールを編集します。
-  ..... 選択されているスケジュールを削除します。

## 2) スケジュールの編集

スケジュールリスト右の新規作成ボタン (  ) または、編集するスケジュールを選んで編集ボタン (  ) をクリックすると、スケジュール設定画面が表示されます。(編集するスケジュールをダブルクリックしてもスケジュール設定画面が表示されます)

タイムテーブルの内容により、起動・再起動・停止が行われます。



| 項目                                     | 説明                                                                                                                                                   |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名前                                     | スケジュールリストに表示される名称です。                                                                                                                                 |
| 色                                      | カレンダー及びスケジュールリストに表示される色です。                                                                                                                           |
| タイムテーブル                                | 設定されているスケジュールを表示します。                                                                                                                                 |
| 時刻                                     | 時刻を設定する場合に使用します。                                                                                                                                     |
| 動作                                     |                                                                                                                                                      |
| 名前                                     | タイムテーブルに表示される動作の名前を設定します。                                                                                                                            |
| 既定の動作                                  | 以下に挙げる規定の動作を設定します。                                                                                                                                   |
| 起動                                     | システムを再起動し、停止状態から復帰します。                                                                                                                               |
| 再起動                                    | システムの再起動を行います。                                                                                                                                       |
| 停止                                     | システムを停止します。                                                                                                                                          |
| スクリプト実行                                | スクリプトを実行します。                                                                                                                                         |
| 電源 OFF (環境設定で「電源 OFF を有効にする」に設定している場合) | システムの電源を OFF にします。次回起動する場合は電源の再供給が必要です。                                                                                                              |
| スクリプト                                  | 実行するスクリプトを設定します。<br>既定の動作が指定された場合にスクリプトを実行するタイミングは以下のとおり<br>なし ..... 指定時刻<br>起動 ..... 起動後<br>再起動 ..... 再起動前<br>停止 ..... 停止前<br>電源 OFF ..... 電源 OFF 前 |

#### ・ タイムテーブルへの登録

- ① 時刻欄の時刻を設定します。(タイムテーブル内をクリックすることで、クリックされた位置の時刻が入力されます)
- ② 時刻欄右の新規ボタン (  ) をクリックすると、タイムテーブル欄に登録されます。
- ③ 動作欄で既定の動作(起動／再起動／停止)と必要に応じてスクリプトを設定します。(環境設定で「電源 OFF を有効にする」に設定している場合は既定の動作に「電源 OFF」が追加されます)

#### ・ タイムテーブルのデータを編集する

- ① タイムテーブル欄の編集するデータを選択します。
- ② 時刻欄または動作欄を編集します。

#### ・ タイムテーブルのデータを削除する

- ① タイムテーブル欄の削除するデータを選択します。
- ② 時刻欄右の削除ボタン (  ) をクリックします。

### 3) 注意点

#### ◆ 24 時間運転する場合

システムのメモリーリークによる誤動作を防ぐため、1 日 1 回の起動(再起動)のスケジューリングをお勧めします。

#### ◆ システム停止時の停電または瞬時停電

スケジュール運転管理では、モニターを OFF にすることでシステムの停止を行っています。

システム停止中に停電または瞬時停電等で電源供給が遮断され、その後再度電源が供給された場合には設定時刻に関係なく一時的にシステムが起動しますが、自動的にシステム停止状態となります。

#### ◆ システム停止時の起動

システム停止時に画面にタッチすると一時的にモニターが ON となります。(一定時間無操作が続くと再度モニターが OFF になります)

システム停止中であっても画面の3点タッチ(システムメニュー)から停止の解除やデータの取り込み、Windows 画面に戻ってデータを編集することができます。画面の3点タッチ(システムメニュー)については「**2 4) 画面の3点タッチ(システムメニュー)**」を参照してください。

#### ◆ 時計補正のお願い

スケジュール運転管理では、Windows の時計を元にスケジュール運転を行います。Windows の時計はご使用の環境や状態などにより時刻がずれる場合がございますので、定期的に時刻補正を行ってください。

## 5 連絡先データの登録・修正方法

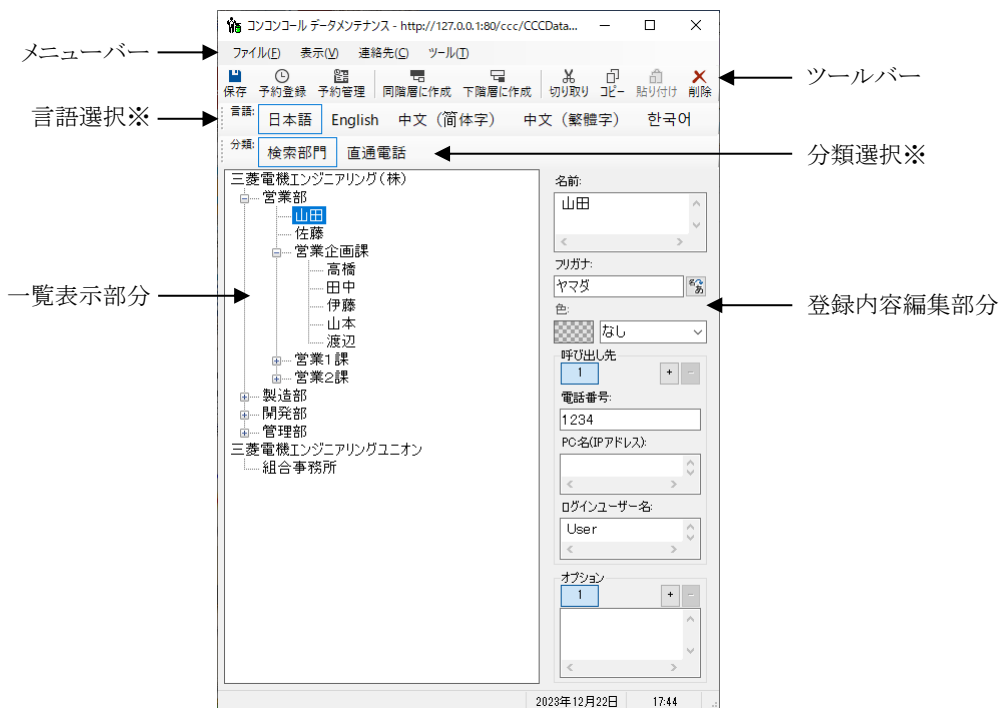
人事異動、部門の統廃合、改名などによる連絡先情報を編集する方法について説明します。

データの変更前、変更後にはバックアップを行うことをお勧めします。変更に伴うデータの破損等については当社では保証を致しかねます。

参考: バックアップについては「7 データのバックアップ/復旧」を参照してください。

### 1) データメンテナンス ツール

連絡先データの登録・更新などの編集を行うには「データメンテナンス」ツールを使用します。



※システムの設定により表示されない場合があります。

#### ・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(🖱️)を実行し、  
 コンコンコール データメンテナンス を選択します。
- Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver8.0** - **コンコンコール Ver8.0 データメンテナンス** を選択します。

#### ・ メニューバー

##### ファイル(F)

- 連絡先データを開く(O)... ..... 連絡先データを開きます。
- 連絡先データの保存(S) ..... 変更された連絡先情報を保存します。
- 名前を付けて連絡先データを保存(A)... ..... 連絡先情報を別名で保存します。
- 更新予約登録(T)... ..... 新たに連絡先情報の更新予約情報を登録します。
- 更新予約管理(M)... ..... 登録されている更新予約情報を編集します。
- 変更の取り消し(C) ..... 編集内容を取り消し、保存されている連絡先情報を読み込み直します。
- データメンテナンスの終了(X) ..... データメンテナンスツールを終了します。

## 表示(V)

- 言語** ▶ .....編集を行う言語を一覧から選択します。システムの設定で複数の言語が登録されている場合に表示されます。
- 分類** ▶ .....編集を行う分類を一覧から選択します。システムの設定で複数の分類が登録されている場合に表示されます。
- 以下を展開(E)** .....一覧表示部で選択されているデータから下位のノードを展開します。
- 以下を折りたたむ(C)** .....一覧表示部で選択されているデータのノードを圧縮します。
- 最新の情報に更新(R)** .....保存されている最新の情報を表示します。
- バージョン情報 (V)** .....バージョン情報を表示します。

## 連絡先(C)

- 同階層に新規作成(N)** .....選択されているデータと同じ階層にデータを新規作成します。
- 下階層に新規作成(M)** .....選択されているデータの下階層にデータを新規作成します。
- 組織を追加(D)** .....追加可能な組織を追加します。システムの設定で複数の組織が登録されている場合に表示されます。
- 切り取り(T)** .....選択されているデータをクリップボードに切り取ります。
- コピー(C)** .....選択されているデータをクリップボードにコピーします。
- 貼り付け(P)** .....クリップボードのデータを貼り付けます。
- 削除(D)** .....選択されているデータを削除します。

## ツール(T)

- テキストファイル出力(O)...** .....表示されている内容をテキストファイルに出力します。
- テキストファイル入力(I)...** .....テキストファイルの内容を取り込みます。

## ・ ツールバー

|                                                                                   |        |                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------|
|  | 保存     | .....変更された連絡先情報を保存します。            |
|  | 予約登録   | .....編集中の連絡先情報の更新日時を登録します。        |
|  | 予約管理   | .....登録されている更新予約情報を編集します。         |
|  | 同階層に作成 | .....選択されているデータと同じ階層にデータを新規作成します。 |
|  | 下階層に作成 | .....選択されているデータの下階層にデータを新規作成します。  |
|  | 切り取り   | .....選択されているデータをクリップボードに切り取ります。   |
|  | コピー    | .....選択されているデータをクリップボードにコピーします。   |
|  | 貼り付け   | .....クリップボードのデータを貼り付けます。          |
|  | 削除     | .....選択されているデータを削除します。            |

## ・ 登録内容編集部分

一覧表示部分で選択したデータの登録内容を表示します。

- ・ 名前 .....ボタンに表示される名称です。
- ・ フリガナ .....名前で検索する場合に入力します。
- ・ 色 .....ボタンに表示される文字色です。  
「なし」を選択した場合、コンテンツで設定された規定の色で表示されます。

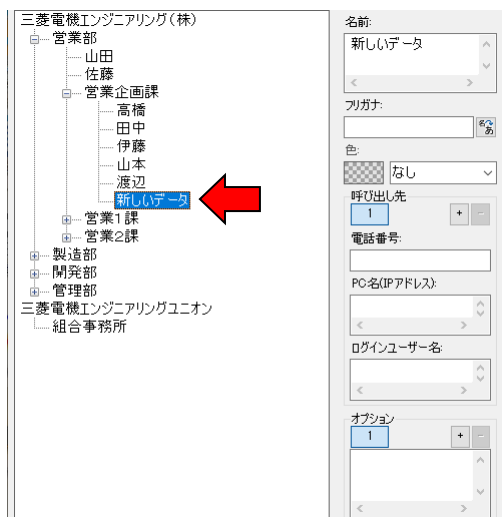
### 呼び出し先

呼び出し先が応対できない場合など、来訪者が転送ボタンをタッチすることで別の呼び出し先を呼び出すことができるよう複数の呼び出し先を登録できます。**+** で別の呼び出し先を追加します。**-** で選択中の呼び出し先を削除します。(自動転送機能オプションを設定している場合は設定時間後に自動的に次の呼び出し先を呼び出します。)

- ・ 電話番号 .....呼び出す電話番号を登録します。
- ・ PC 名 (IP アドレス) .....呼び出し先のメッセージポップアップツールがインストールされたパソコンのホスト名または IP アドレスを登録します。改行コード (**[Enter]**キーを押して入力) で区切ることで、同時に呼び出せるパソコンを複数 (改行コードを含め最大約 3 万文字まで) 登録できます。
- ・ ログインユーザー名 .....呼び出し先のメッセージポップアップツールがインストールされたパソコンにログインするログインユーザーID を登録します。改行コード (**[Enter]**キーを押して入力) で区切ることで、同時に呼び出せるパソコンを複数 (改行コードを含め最大約 3 万文字まで) 登録できます。
- ・ オプション .....通常は使用しません。カスタマイズ等で説明文や識別コードを割り当てる場合に入力します。**+** で別のオプション情報を追加します。**-** で選択中のオプション情報を削除します。

## 2) 連絡先データの新規登録

- ① 一覧表示部で新しく連絡先データを追加する階層の基準となるデータを選択します。
- ② 選択したデータと同階層にデータを作成する場合は、メニューバーから **連絡先(C)ー同階層に新規作成(N)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)  
選択したデータの下階層にデータを作成する場合は、メニューバーから **連絡先(C)ー下階層に新規作成(C)** を選択します。(またはツールバーの  をクリックします。)
- ③ 「新しいデータ」という名前の連絡先データが作成されます。
- ④ 登録内容編集部分で名前やフリガナ、呼び出し先などを設定します。



画面左側には組織構造ツリーが表示されており、三菱電機エンジニアリング(株)の下に営業部、営業企画課、営業1課、営業2課、製造部、開発部、管理部、三菱電機エンジニアリングユニオン、組合事務所が列挙されています。営業企画課の下に「新しいデータ」という項目があり、赤い矢印がこれを指しています。

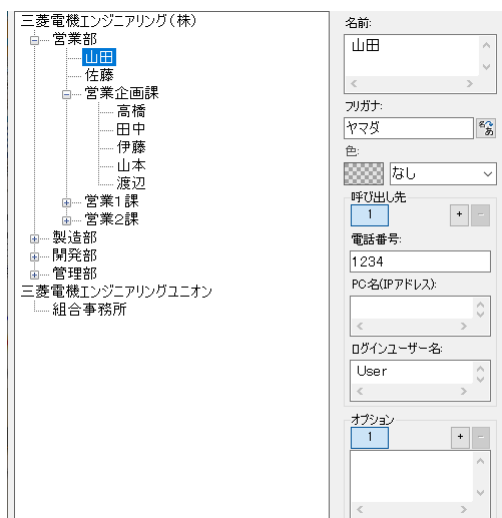
画面右側には登録内容の入力欄があります。

|              |        |
|--------------|--------|
| 名前:          | 新しいデータ |
| フリガナ:        |        |
| 色:           | なし     |
| 呼び出し先:       | 1      |
| 電話番号:        |        |
| PC名(IPアドレス): |        |
| ログインユーザー名:   |        |
| オプション:       | 1      |

**参考:** 「部門検索」や「名前検索」で検索される連絡先データは分類の「検索部門」に登録します。検索方法選択画面に表示される「総合案内」などの連絡先データは分類の「直通電話」に登録します。

## 3) 連絡先データの登録内容変更

- ① 一覧表示部分で目的の連絡先データを選択します。



画面左側の組織構造ツリーで、営業部の「山田」が選択されています。

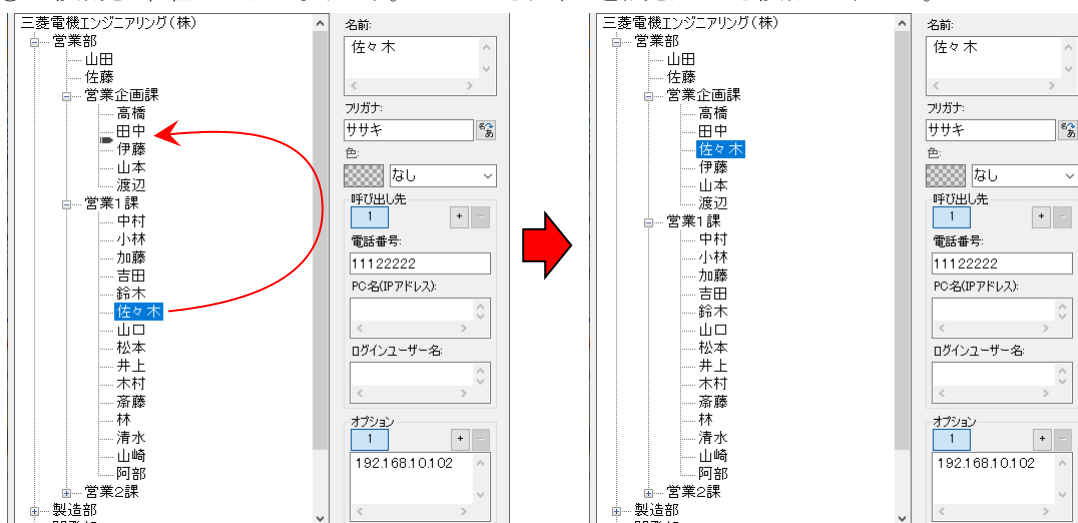
画面右側の登録内容入力欄には、山田のデータが編集可能になっています。

|              |      |
|--------------|------|
| 名前:          | 山田   |
| フリガナ:        | ヤマタ  |
| 色:           | なし   |
| 呼び出し先:       | 1    |
| 電話番号:        | 1234 |
| PC名(IPアドレス): |      |
| ログインユーザー名:   | User |
| オプション:       | 1    |

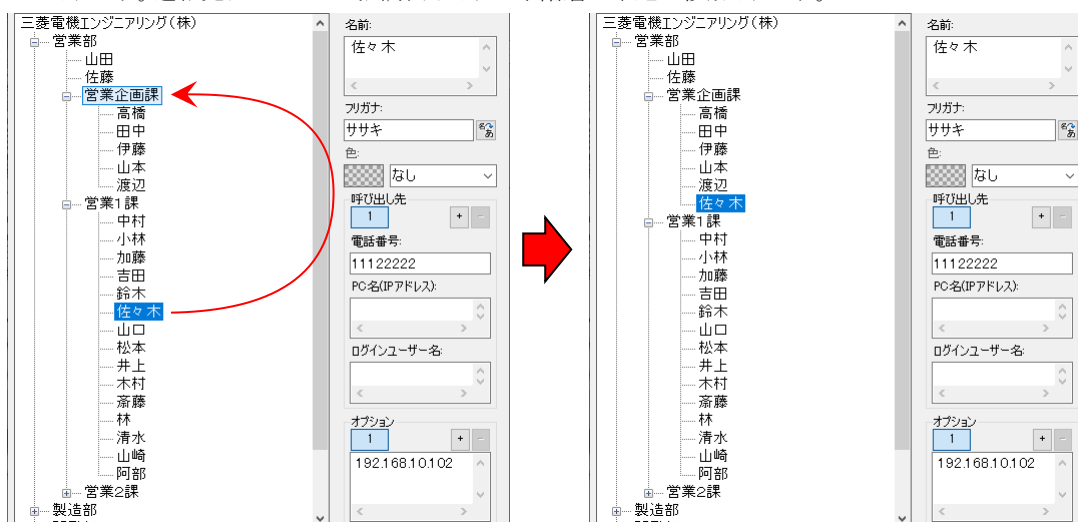
- ② 登録内容編集部で名前やフリガナ、内線番号などを編集します。

## 4) 連絡先データの表示順・階層変更

- ① 一覧表示部の表示順・階層を変更したい連絡先データにマウスカーソル(既定値では $\text{☞}$ )を合わせます。
- ② マウスの左ボタンを押したままマウスカーソルを目的の位置まで移動(ドラッグ)します。
- ③ 移動先の位置にガイドが現れます。このガイドを目印に連絡先データを移動してください。



- ④ キーボードの[Shift]キーを押しながら移動(ドラッグ)すると下階層への移動モードとなり、移動先が強調表示されます。連絡先データはこの強調表示された下階層の末尾に移動されます。



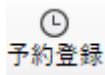
## 5) 連絡先データの削除

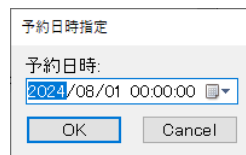
- ① 一覧表示部分で目的の連絡先データを選択します。
- ② メニューバーから **連絡先(C)ー削除(D)** を選択します。(またはツールバーの  **削除** をクリックします。)
- ③ 削除確認のダイアログボックスが表示されますので削除する連絡先データを確認の上、よろしければ **はい(Y)** をクリックしてください。

## 6) 連絡先データの保存

- ① メニューバーから **ファイル(F)ー連絡先データの保存(S)** を選択します。(またはツールバーの  **保存** をクリックします。)
- ② 保存せずにデータメンテナンス画面を終了しようとした場合、確認のダイアログボックスが表示されますので、保存する場合は **はい(Y)** をクリックしてください。

## 7) 更新日時を予約する

- ① メニューバーから **ファイル(F)ー更新予約登録(T)...** を選択します。(またはツールバーの  **予約登録** をクリックします。)



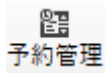
予約日時指定

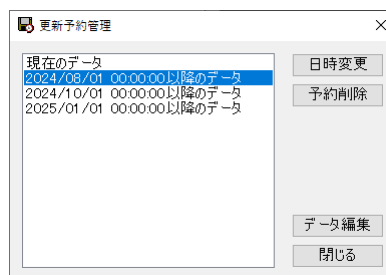
予約日時:  
2024/08/01 00:00:00

OK Cancel

- ② データを更新する日時を指定して **OK** をクリックしてください。

## 8) 更新予約日時の管理

- ① メニューバーから **ファイル(F)ー更新予約管理(M)...** を選択します。(またはツールバーの  **予約管理** をクリックします。)



更新予約管理

現在のデータ  
2024/08/01 00:00:00以降のデータ  
2024/10/01 00:00:00以降のデータ  
2025/01/01 00:00:00以降のデータ

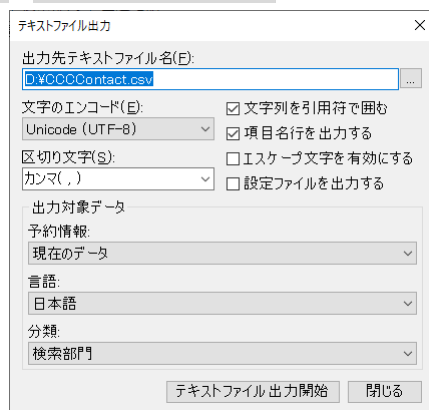
日時変更  
予約削除  
データ編集  
閉じる

- ② すでに予約されている更新予定日時を変更する場合はリストから選択し、**日時変更** をクリックします。
- ③ すでに予約されている更新予定を取り消す場合はリストから選択し、**予約削除** をクリックします。
- ④ すでに予約されている更新予定の連絡先データを編集する場合はリストから選択し、**データ編集** をクリックします。(またはリストの予定日時をダブルクリックします。) 編集した連絡先データを保存するにはメニューバーから **ファイル(F)ー連絡先データの保存(S)** を選択します。(またはツールバーの **保存** をクリックします。)

## 9) テキストファイル出力

テキストファイル出力では、コンコンコールデータベースの連絡先データをテキストファイル形式で出力します。

- ① メニューバーから **ツール(T)** → **テキストファイル出力(O)** を選択します。



- ② テキストファイル出力ダイアログの各項目を設定し **テキストファイル出力開始** をクリックします。各項目の説明を以下に示します。

- 出力先テキストファイル名(F) ……………出力先、ファイル名を指定します。
- 文字のエンコード(E) ……………文字のエンコード形式を指定します。
- 区切り文字(S) ……………項目フィールド区切り記号の文字を指定します。
- 文字列を引用符で囲む ……………文字列を引用符(“)で囲む場合はチェックを入れます。
- 項目名行を出力する ……………項目名を先頭行に出力する場合はチェックを入れます。
- エスケープ文字を有効にする ……………制御文字(改行やタブ等)をエスケープ制御文字「¥」と組み合わせた文字で置き換えます。
- 設定ファイルを出力する ……………現在の各項目の設定状態をファイルに保存します。
- 出力対象データ ……………出力するデータの種類を選択します。
  - 予約情報 ……………現在有効なデータのみ出力するか予約されたデータも含めて出力するか選択します。
  - 言語 ……………出力する対象の言語を選択します。
  - 分類 ……………出力する対象の分類を選択します。

## 10) テキストファイル入力

テキストファイル入力では、区切り記号つきテキストファイルをコンコンコールデータベースに取り込みます。

- ① メニューバーから **ツール(T) - テキストファイル入力(I)** を選択します。

- ② 入力元テキストファイル名を設定し **ファイル解析** をクリックします。各項目の説明を以下に示します。

- 入力元テキストファイル名 ……入力する区切り記号つきテキストファイルを指定します。
- ファイル解析** ……入力元テキストファイルを解析し、以下の取り込み条件を調整します。
- 文字のエンコード ……文字のエンコード形式を指定します。
- 区切り文字 ……項目フィールド区切り記号の文字を指定します。
- 文字列は引用符で囲まれる ……文字列が引用符(“)で囲まれている場合はチェックを入れます。
- 項目名行あり ……項目名を表す行がある場合はチェックを入れます。
- 連絡先データ開始行 ……項目名行がある場合は項目名行も含めて取り込みを開始する行を指定します。
- エスケープ文字を有効にする ……エスケープ制御文字「¥」と組み合わせた文字を制御文字(改行やタブ等)が含まれる場合はチェックを入れます。
- 設定呼出** ……**設定保存** でファイルに保存された設定状態を呼び出します。
- 設定保存** ……現在の各項目の設定状態をファイルに保存します。
- 入力項目関連付け ……入力元ファイルの項目をコンコンコールデータベースのどの項目に取り込むかの関連付けを指定します。

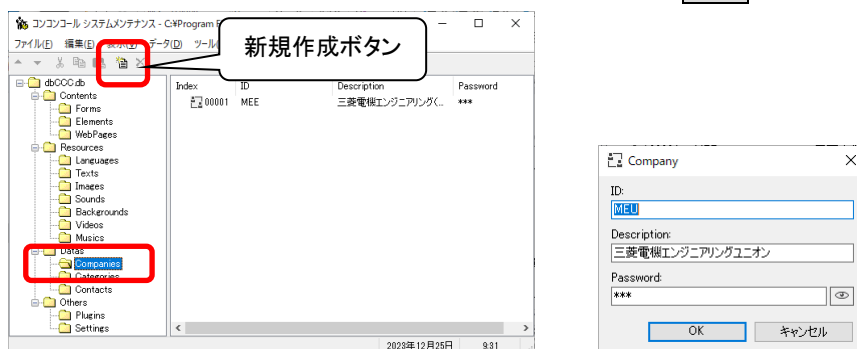
- ③ 入力項目の関連付けが終了したら **テキストファイル入力開始** をクリックします。

## 11) 組織選択画面を使用する

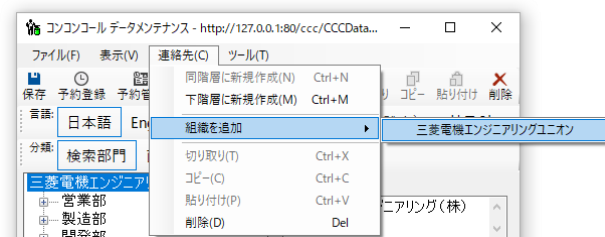
複数の組織で利用する場合など、来訪者が最初に訪問先組織を選択することができます。

### ・ 組織名の追加

- ① 「システムメンテナンス」ツールを起動します。
- ② Companies フォルダを選択し、新規作成ボタン(  )をクリックします。
- ③ ID 欄に組織の識別 ID(管理ツールのログイン ID)、Description 欄に表示名称(管理ツールに表示される名称)、Password 欄にパスワード(管理ツールのログインパスワード)を入力し、**OK** をクリックします。

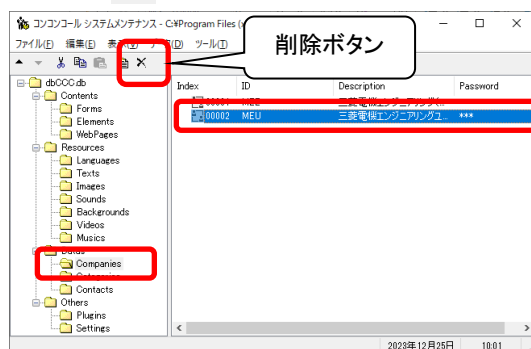


- ④ 「データメンテナンス」ツールを起動します。
- ⑤ 「連絡先」メニューの「組織を追加」サブメニューから追加した組織を選択します。

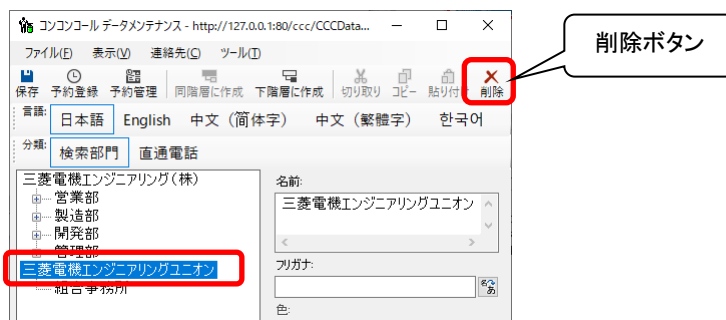


### ・ 組織名の削除

- ① 「システムメンテナンス」ツールを起動して Companies フォルダを選択します。
- ② 削除する組織を選択し、削除ボタン(  )をクリックします。

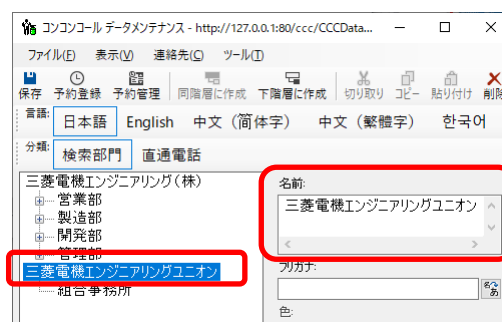


- ③ 「データメンテナンス」ツールを起動します。
- ④ 一覧表示部で削除する組織を選択し、削除ボタンをクリックします。複数の言語や複数の分類に存在する場合は全て削除してください。



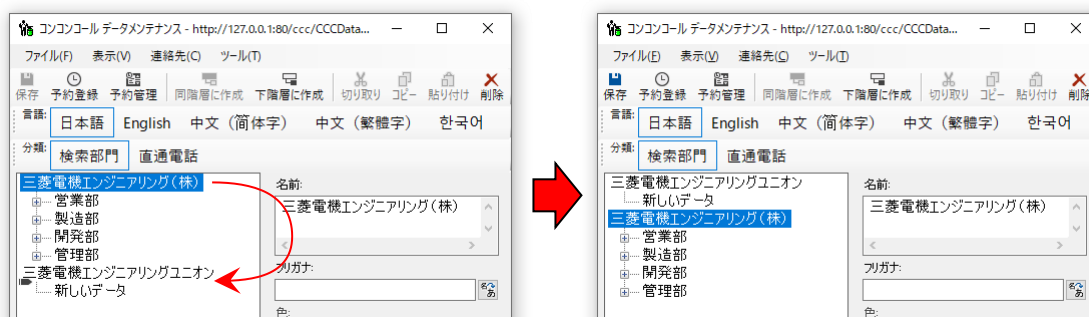
### ・ 組織名の修正

- ① 「データメンテナンス」ツールを起動します。
  - ② 一覧表示部で修正する組織を選択します。
  - ③ 名前欄に登録されている組織を修正します。
- ※ 日本語以外の言語を設定している場合は、それぞれのタブの組織名を修正してください。



### ・ 組織名の表示順変更

- ① 「データメンテナンス」ツールを起動します。
- ② 一覧表示部で表示順を変更したい組織データにマウスカーソル(既定値ではマウス)を合わせます。
- ③ マウスの左ボタンを押したままマウスカーソルを目的の位置まで移動(ドラッグ)します。
- ④ 移動先の位置にガイドが現れます。このガイドを目印に連絡先データを移動してください。



## 12) Excel ファイルから部門・担当者データを取り込む

Microsoft Excel ファイルでデータを作成してある場合、区切り記号つきテキストファイルに変換して取り込むことができます。

例として下記データを CSV テキストファイルとして取り込む方法を説明します。

|    | A    | B   | C   | D    | E    | F   |
|----|------|-----|-----|------|------|-----|
| 1  | 内線一覧 |     |     |      |      |     |
| 2  |      | 部   | 課   | 名前   | ふりがな | 内線  |
| 3  | 1    | 総務部 |     | 田口部長 | タナ   | 111 |
| 4  | 2    | 総務部 | 総務課 | 中野課長 | ナノ   | 112 |
| 5  | 3    | 総務部 | 総務課 | 田中   | タナ   | 113 |
| 6  | 4    | 総務部 | 総務課 | 日比野  | ヒノ   | 113 |
| 7  | 5    | 総務部 | 総務課 | 安田   | ヤスダ  | 114 |
| 8  | 6    | 総務部 | 総務課 | 山本   | ヤマモト | 114 |
| 9  | 7    | 総務部 | 人事課 | 菊池課長 | キクチ  | 221 |
| 10 | 8    | 総務部 | 人事課 | 浅野   | アサノ  | 222 |
| 11 | 9    | 総務部 | 人事課 | 太矢   | オオヤ  | 222 |
| 12 | 10   | 総務部 | 人事課 | 金子   | カネコ  | 223 |
| 13 | 11   | 総務部 | 人事課 | 境    | サカイ  | 223 |

**注意:** ここで説明する手順はあくまで 1 例であり、全てのお客様で同じ手順であるとは限りません。お客様でご用意いただいた Excel データに合わせて取り込み設定を見直してください。

### ・ CSV UTF-8 ファイルへの変換

- ① Excel ファイルを開き、メニューの **ファイル(F)ー名前を付けて保存(A)** を選択します。
- ② 「ファイルの種類」欄で「CSV UTF-8(コンマ区切り) (\*.csv)」を選択して保存します。

### ・ ファイルの取り込み

- ① 「データメンテナンス」ツールを起動します。
- ② メニューバーから **ツール(T)ーテキストファイル入力(I)** を選択します。
- ③ 「入力元テキストファイル名」欄に保存したテキストファイルを選択します。
- ④ **ファイル解析** をクリックします。
- ⑤ 「文字のエンコード」が **Unicode(UTF-8)**、「区切り文字」がカンマ(,)、項目名行あり、連絡先データ開始行が 2 と正しく設定されているか確認し、間違っていれば修正します。
- ⑥ 「入力項目関連付け」欄で、Excel の項目(左側)がコンコンコールの項目(右側)に正しく関連付けられているか確認し、間違っていれば修正します。

**参考:** Excel の項目名(左側)とコンコンコールの項目名(右側)を同一にすることで、関連付けの作業を省略することができます。

## ・ 入力項目について

| 項目       | 説明                                                    |
|----------|-------------------------------------------------------|
| インデックス番号 | 連絡先の番号です。(以前のバージョンとの互換用で現在では使用されません)                  |
| 予約日時     | 更新予約日時に関連付けます。                                        |
| 言語       | 言語の識別名に関連付けます。                                        |
| 分類       | 分類の識別名に関連付けます。                                        |
| 組織       | 組織の識別名に関連付けます。                                        |
| 名前       | 名前(表示名)に関連付けます。                                       |
| 所属       | 所属する部署に関連付けます。                                        |
| ふりがな     | ふりがなに関連付けます。                                          |
| 色        | ボタンの文字色を割り当てる場合(男性→青、女性→赤など)は、Excel の列を追加して関連付けてください。 |

|   | A    | B   | C   | D    | E    | F    | G   |
|---|------|-----|-----|------|------|------|-----|
| 1 | 内線一覧 |     |     |      |      |      |     |
| 2 |      | 部   | 課   | 名前   | ふりがな | ボタン色 | 内線  |
| 3 | 1    | 総務部 |     | 田口部長 | タカチ  | 青    | 111 |
| 4 | 2    | 総務部 | 総務課 | 中野課長 | ナカノ  | 青    | 112 |
| 5 | 3    | 総務部 | 総務課 | 田中   | タナカ  | 青    | 113 |
| 6 | 4    | 総務部 | 総務課 | 日比野  | ヒビノ  | 青    | 113 |
| 7 | 5    | 総務部 | 総務課 | 安田   | ヤスタ  | 赤    | 114 |
| 8 | 6    | 総務部 | 総務課 | 山本   | ヤマモト | 赤    | 114 |
| 9 | 7    | 総務部 | 人事課 | 菊池課長 | キクチ  | 青    | 221 |

|           |                                                                     |
|-----------|---------------------------------------------------------------------|
| 電話番号      | 呼び出し先の電話番号に関連付けます。                                                  |
| PC 名      | 呼び出し先の PC 名または IP アドレスに関連付けます。                                      |
| ログインユーザー名 | 呼び出し先のログインユーザーに関連付けます。                                              |
| オプション     | 連絡先の追加情報を関連付けます。役職名や追加情報などオプション機能やコンテンツのカスタマイズなどの仕様により必要な情報に関連付けます。 |

テキストファイル入力

入力元テキストファイル名(E): D:\連絡先.csv

文字のエンコード(E): Unicode (UTF-8)

区切り文字(S): カンマ(,)

☐ 文字列は引用符で囲まれる

☒ 項目名行あり

連絡先データ開始行(L): 2

☐ エスケープ文字を有効にする

入力項目関連付け

|        |      |      |
|--------|------|------|
| 1:     | ---  | 該当なし |
| 2:部    | 所属   |      |
| 3:課    | 所属   |      |
| 4:名前   | 名前   |      |
| 5:ふりがな | ふりがな |      |
| 6:内線   | 電話番号 |      |

設定呼出 設定保存

テキストファイル入力開始 閉じる

- ⑦ 「入力項目の関連付け」が終了したら **テキストファイル入力開始** をクリックします。
- ⑧ データを保存してコンコンコールを起動します。

## 6 担当者のパソコンでできること

担当者のパソコンに付属のソフトウェアをインストールすることで次に示す機能を利用することができます。担当者ごとに必要なソフトウェアを選択してインストールしてください。

| ソフトウェア名                | 説明                                                                                                                  |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 連絡先データ編集ツール            | 連絡先データの登録・修正を担当者のパソコン上で実施できます。                                                                                      |
| メンテナンスツール              | コンコンコール本体で行う自動起動・終了設定やカスタマイズなどのメンテナンス作業を担当者のパソコン上で実施できます。                                                           |
| 映像ポップアップ<br>(スペシャルプラン) | 来訪者が担当者呼び出しの際、担当者のパソコンの画面上にポップアップウィンドウを表示し、来訪者のカメラ映像とともに内線呼び出しを通知します。                                               |
| 通話履歴閲覧<br>(スペシャルプラン)   | コンコンコールから呼び出しを行った時間や通話先、内蔵カメラの映像等の履歴を閲覧できます。通話履歴は条件による絞り込みや、テキストファイルへの出力ができます。                                      |
| 来訪予約<br>(来訪予約オプション)    | 来訪されるお客様を事前に登録し、受付番号(2次元コード)を発行します。来訪されるお客様は受付番号により簡単に応対者の呼び出しができます。また受付番号により呼び出しを行った通話は予約情報と共に記録され、通話履歴閲覧から参照できます。 |

担当者のパソコンにインストールするソフトウェアの動作には Microsoft .NET Framework 4.6 が必要です。

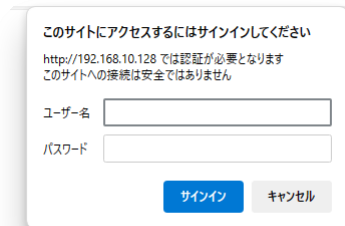
Microsoft .NET Framework 4.6 がインストールされていないパソコンにソフトウェアをインストールする場合、予め Microsoft .NET Framework 4.6 をインストールしてください。

**参考：** Windows10 以降の OS にはすでに Microsoft .NET Framework 4.6 がインストールされていますので改めて Microsoft .NET Framework 4.6 のインストールは不要です。

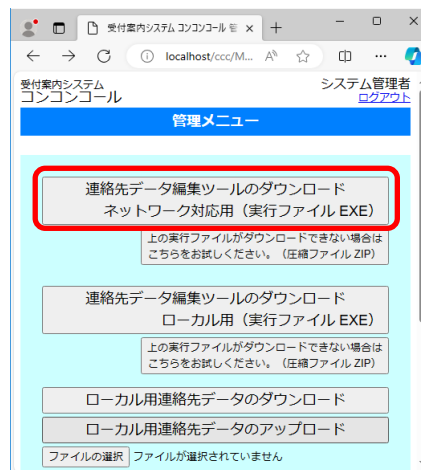
## 1) 連絡先データ編集ツール

### ・ ネットワークに接続している場合

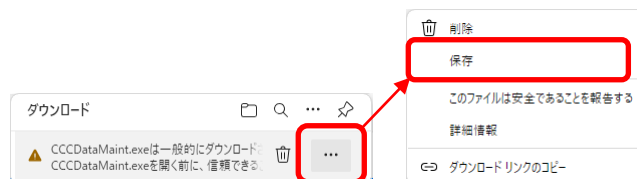
- ① 担当者のパソコンから WEB ブラウザーでコンコンコールの管理用ページにアクセスします。  
管理用ページ URL: `http://xxx.xxx.xxx.xxx/cc/`  
(xxx.xxx.xxx.xxx はコンコンコール本体の IP アドレス)
- ② 認証画面で組織の識別 ID とパスワードを入力してログインします。管理者ユーザー ID (デフォルト: admin) と管理者パスワード (デフォルト: ComConCall) でログインすると全ての組織の連絡先データの編集が可能です。



- ③ 管理メニューで「連絡先データ編集ツールのダウンロード ネットワーク対応用 (実行ファイル EXE)」をクリックしてツールをダウンロードします。



警告メッセージが表示される場合がありますが、そのままダウンロードを続行します。ダウンロードができない場合は「圧縮ファイル ZIP」によるダウンロードをお試しください。



Microsoft Edge の警告の例

- ④ ダウンロードした実行ファイルを実行するとデータメンテナンス ツールが起動し、本体と同様に連絡先データの登録・修正ができます。

**参考:** 編集した連絡先データはネットワークを介して直接コンコンコール本体に保存されます。

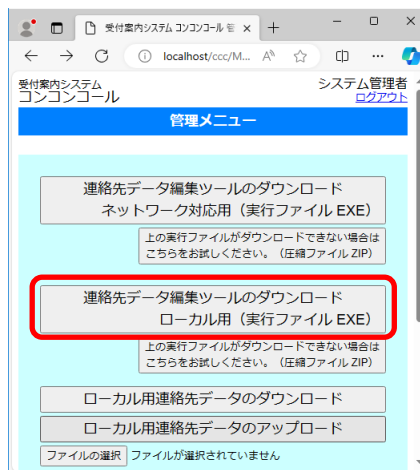
## ・ USB メモリー等を使用する場合

- ① コンコンコール本体で Microsoft Edge を起動し、管理用ページにアクセスします。

管理用ページ URL: <http://localhost/ccc/>

※ 自動的にシステム管理者としてログインされますが、個別に組織の連絡先だけを編集したい場合は一旦ログアウトして組織の識別 ID とパスワードを入力して再ログインします。

- ② 管理メニューで「連絡先データ編集ツールのダウンロード ローカル用 (実行ファイル EXE)」をクリックしてツールをダウンロードします。



- ③ ダウンロードした実行ファイルを USB メモリーへ保存します。
- ④ 担当者のパソコンで USB メモリーに保存された連絡先データ編集ツールを実行するとデータメンテナンスツールが起動し、本体と同様に連絡先データの登録・修正ができます。
- ⑤ 連絡先データの登録・修正作業が完了したら連絡先データを USB メモリーへ保存します。
- ⑥ USB メモリーをコンコンコール本体にセットします。パスワードや指紋認証付きのリムーバブルメディアを使用している場合はロックを解除してください。
- ⑦ 画面の3点タッチからシステムメニューを表示して、**連絡先データ取り込み** をクリックします。
- ⑧ 連絡先データ取り込みダイアログが開き、データファイルの検索が始まります。手動で取り込むデータファイルを指定する場合は、**検索中止** をクリックして連絡先データファイル名のドロップダウンから「その他の連絡先データファイルを参照...」を選んで目的のデータを指定してください。



- ⑨ 連絡先データファイル名に目的のデータファイルが表示されたら、**取り込み** をクリックします。目的の連絡先データファイルが連絡先データファイル名のドロップダウンにもない場合は **再検索** をクリックするか、連絡先データファイル名のドロップダウンから「その他の連絡先データファイルを参照...」を選択して直接連絡先データファイルを指定してください。
- ⑩ データベースの最適化が行われ、プログラムが再起動します。
- ⑪ データが更新されているか確認してください。

## 2) メンテナンスツール

### ・ インストール方法

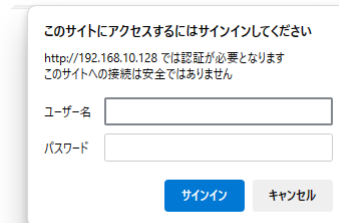
- ① 担当者のパソコンから WEB ブラウザーでコンコンコールの管理用ページにアクセスします。

管理用ページ URL: `http://xxx.xxx.xxx.xxx/cc/Tools`

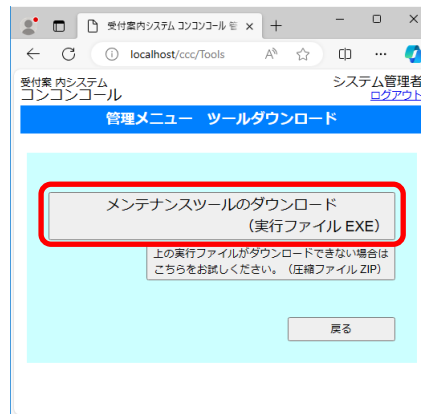
(xxx.xxx.xxx.xxx はコンコンコール本体の IP アドレス)

- ② 認証画面で組織の識別 ID とパスワードを入力してログインします。

(デフォルト設定 ユーザー名: admin パスワード: ComConCall)



- ③ 管理メニュー ツールダウンロードで「メンテナンスツールのダウンロード(実行ファイル EXE)」をクリックしてメンテナンスツールをダウンロードします。

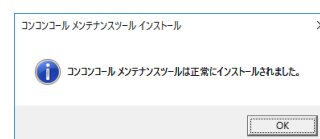
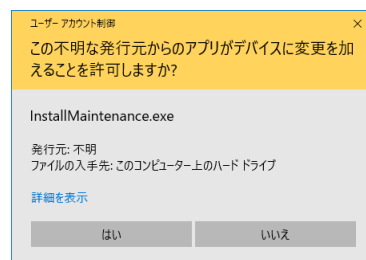


警告メッセージが表示される場合がありますが、そのままダウンロードを続行します。ダウンロードができない場合は「圧縮ファイル ZIP」によるダウンロードをお試しください。



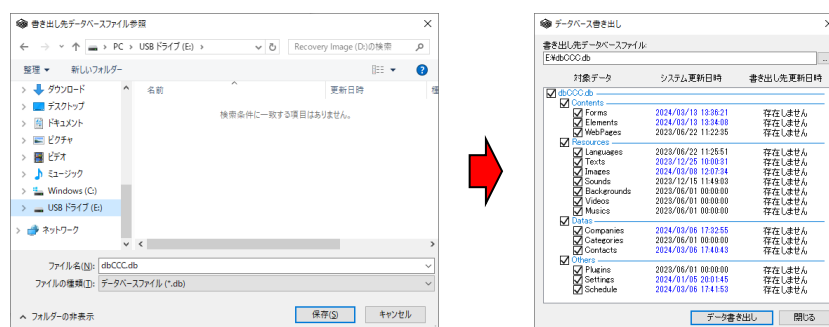
Microsoft Edge の警告の例

- ④ ダウンロードした実行ファイルを実行すると「ユーザーアカウント制御」の警告メッセージが表示される場合がありますが、「はい」をクリックするとインストールが開始され、インストールが完了すると完了メッセージが表示されます。

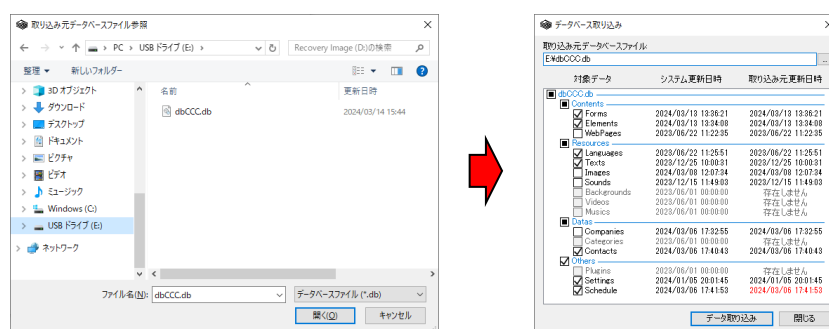


## ・メンテナンス方法(USBメモリ等を使用する場合)

- ① メンテナンスツールをインストールしたお手持ちのパソコン上でメンテナンスツールを使用して自動起動・終了設定やカスタマイズなどのメンテナンス作業を実施します。
- ② USB メモリー等のリムーバブルメディアをコンコンコール本体にセットします。パスワードや指紋認証付きのリムーバブルメディアを使用している場合はロックを解除してください。
- ③ 管理メニューから「コンコンコール システムメンテナンス」を起動します。
- ④ メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース書き出し(バックアップ)...** を選択します。
- ⑤ ファイル参照ダイアログボックスで保存先を USB メモリー等にした任意のファイル名を指定して **保存(S)** をクリックします。



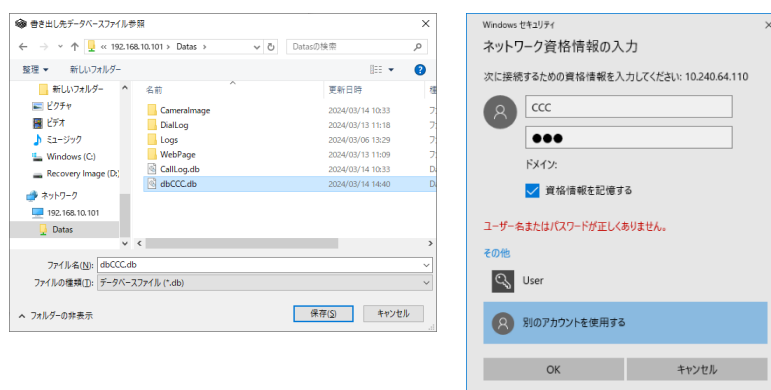
- ⑥ 対象データを全て選択して **データ書き出し** をクリックします。
- ⑦ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。
- ⑧ リムーバブルメディアをパソコンから取り外します。
- ⑨ 稼働中のコンコンコール本体でメインプログラムを終了させます。
- ⑩ リムーバブルメディアをコンコンコール本体にセットします。パスワードや指紋認証付きのリムーバブルメディアを使用している場合はロックを解除してください。
- ⑪ 管理メニューから「コンコンコール システムメンテナンス」を起動します。
- ⑫ メニューバーから **ファイル(F)ー外部データベース取り込み(復旧)...** を選択します。
- ⑬ 取り込み元データベースファイル参照ダイアログボックスからリムーバブルメディアに保存されたデータベースファイルを指定し **開く(O)** をクリックします。



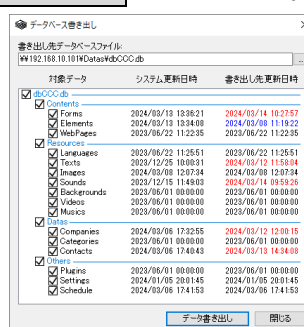
- ⑭ 対象データを全て選択して **データ取り込み** をクリックします。
- ⑮ 取り込み終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

・ **メンテナンス方法(ネットワークに接続している場合)**

- ① メンテナンスツールをインストールしたお手持ちのパソコン上でメンテナンスツールを使用して自動起動・終了設定やカスタマイズなどのメンテナンス作業を実施します。
- ② 管理メニューから「コンコンコール システムメンテナンス」を起動します。
- ③ メニューバーから **ファイル(F)－外部データベース書き出し(バックアップ)...** を選択します。
- ④ ファイル参照ダイアログボックスの**ファイル名(N)** に「¥¥xxx.xxx.xxx.xxx¥Datas¥dbCCC.db」を入力し**保存(S)** をクリックします。(xxx.xxx.xxx.xxx はコンコンコール本体に設定したIPアドレス)  
「Windows セキュリティ」ウィンドウが表示される場合がありますが、この場合「別のアカウントを使用する」を選択し、**ユーザー名** に「ccc」、**パスワード** に「ccc」を入力し、**資格情報を記憶する** にチェックを入れてください。



- ⑤ 対象データを全て選択して **データ書き出し** をクリックします。



- ⑥ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

**参考:** コンコンコール本体の共有フォルダーを予めネットワークドライブに割り当てておくことも可能です。  
共有フォルダーはコンコンコール本体の「C:¥Program Files (x86)¥ComConCall¥Datas」です。(共有名:Datas)

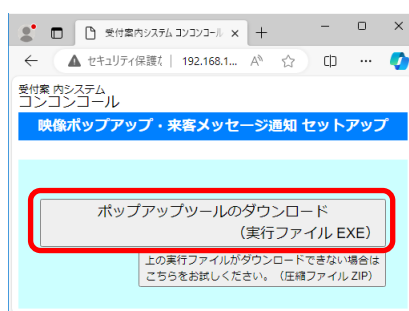
### 3) 映像ポップアップ (スペシャルプラン)

#### ・インストール方法

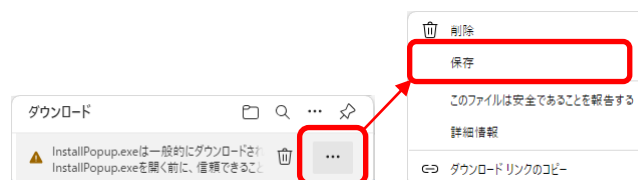
- ① 担当者のパソコンから WEB ブラウザーでコンコンコールのポップアップツールセットアップページにアクセスします。

ポップアップツールセットアップページ URL: <http://xxx.xxx.xxx.xxx/Popup/Setup>  
(xxx.xxx.xxx.xxx はコンコンコール本体の IP アドレス)

- ② 「ポップアップツールのダウンロード (実行ファイル EXE)」をクリックしてインストーラーをダウンロードします。

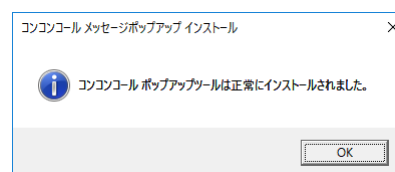
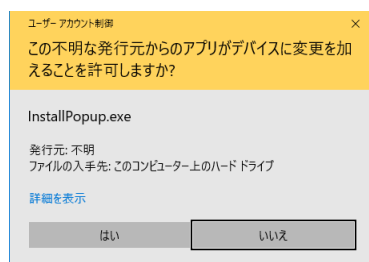


警告メッセージが表示される場合がありますが、そのままダウンロードを続行します。ダウンロードができない場合は「圧縮ファイル ZIP」によるダウンロードをお試しください。



Microsoft Edge の警告の例

- ③ ダウンロードしたファイルを開く(実行する)とインストールが開始され、インストールが完了すると終了メッセージとともにポップアップツールが自動的に起動します。  
「ユーザーアカウント制御」の警告メッセージが表示される場合は、「はい」をクリックして続行します。



- ④ タスクトレイに表示された来客メッセージ通知アイコン (🗨️) をダブルクリックしてポップアップウィンドウが表示されることを確認します。

## ・ 映像ポップアップウィンドウ

来訪者が担当者呼び出した際、担当者のパソコン画面上に下図のようなウィンドウが表示されます。



Windows のタスクトレイにある映像ポップアップアイコン(  )をダブルクリックすることでコンコンコールからの呼び出しがなくてもウィンドウを開くことができます。

### 内蔵カメラ映像

内蔵カメラの映像が表示されます。

### 機能ボタン

電気錠開錠や入館票発行などの機能ボタンです。

### 閉じるボタン

メッセージポップアップウィンドウを閉じます。

## ・ 設定画面

### 通信設定

受信ポート……………サーバー（コンコンコール本体）からの接続要求を受け付ける TCP ポートを設定します。

通信タイムアウト秒 …………… 通信異常が発生したとみなす時間を設定します。

### サーバーリスト

接続するサーバー（コンコンコール本体）の情報を登録します。

**追加** **変更** **削除** ボタンでリストの登録を編集します。**上へ** **下へ** ボタンで登録順を変更します。

**既定のポップアップ設定** ボタンで新たに追加するサーバーの既定値と、サーバーリストに登録されていないサーバーからの接続要求を受け付けたときの既定値を設定します。

ホスト名(IP アドレス) … 接続するサーバーのホスト名または IP アドレスを指定します。

接続ポート …………… 接続に使用する TCP ポートを指定します。

### ポップアップ設定

来訪者が担当者を呼び出した際の動作を指定します。

ポップアップウィンドウを開く …… ポップアップウィンドウを開きます。

最前面に表示 …………… ポップアップウィンドウを最前面に表示します。

バルーンヒントによる通知 …… バルーンヒントによる通知を表示します。

表示時間 …………… 表示時間を指定します。

### ログ設定

動作ログを保存する場合は「保存先ファイル名」と共に「ログを保存する」を設定します。

## 4) 通話履歴閲覧 (スペシャルプラン)

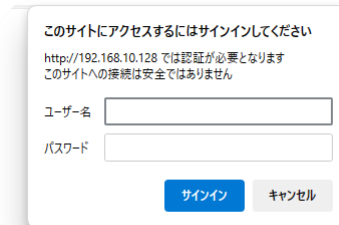
### ・ インストール方法

- ① 担当者のパソコンから WEB ブラウザーでコンコンコールの管理用ページにアクセスします。

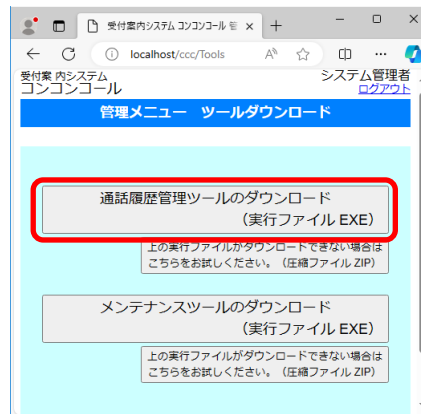
管理用ページ URL: `http://xxx.xxx.xxx.xxx/cc/Tools`  
(xxx.xxx.xxx.xxx はコンコンコール本体の IP アドレス)

- ② 認証画面で組織の識別 ID とパスワードを入力してログインします。

(デフォルト設定 ユーザー名: admin パスワード: ComConCall)



- ③ 管理メニュー ツールダウンロードで「通話履歴管理ツールのダウンロード(実行ファイル EXE)」をクリックしてメンテナンスツールをダウンロードします。



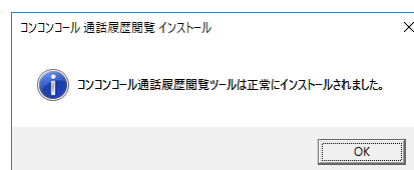
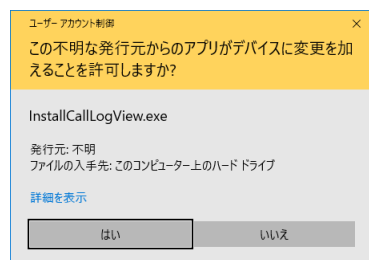
警告メッセージが表示される場合がありますが、そのままダウンロードを続行します。ダウンロードができない場合は「圧縮ファイル ZIP」によるダウンロードをお試しください。



Microsoft Edge の警告の例

- ④ ダウンロードしたファイルを開く(実行する)とインストールが開始され、インストールが完了すると終了メッセージが表示されます。

「ユーザーアカウント制御」の警告メッセージが表示される場合は、「はい」をクリックして続行します。

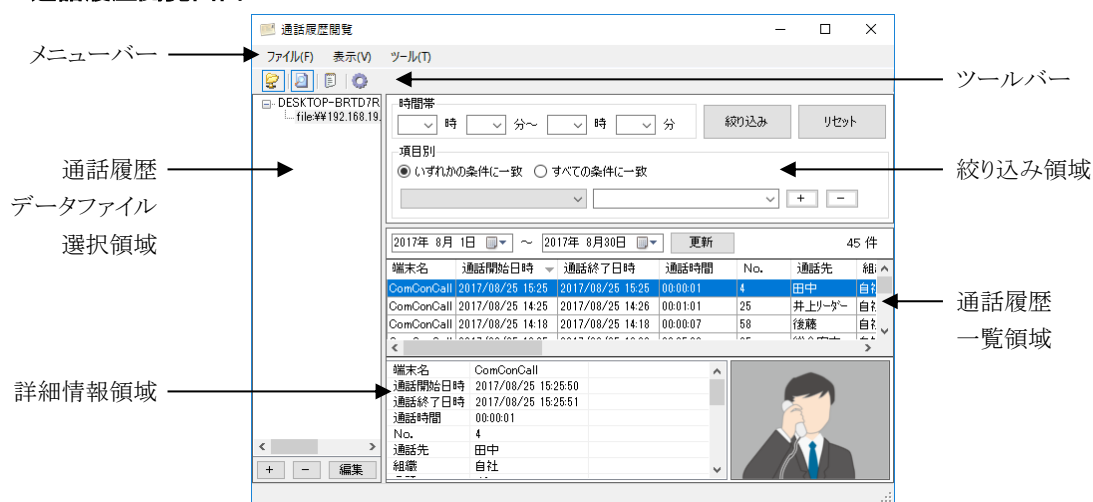


## ・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- メンテナンスツールをインストールしたパソコンではデスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 管理メニュー」ショートカットアイコン(🔧)を実行し、**コンコンコール 通話履歴閲覧** を選択します。  
通話履歴閲覧を個別にインストールしたパソコンではデスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 通話履歴閲覧」ショートカットアイコン(📄)を実行します。
- Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver8.0** - **コンコンコール Ver8.0 通話履歴閲覧** を選択します。

## ・ 通話履歴閲覧画面



### メニューバー

#### ファイル(F)

設定(S) ..... 設定画面を表示します。

DialLog フォルダ取り込み(I) ..... コンコンコール本体の DialLog フォルダにある通話ログ(テキストファイル)を取り込みます。

終了(X) ..... 通話履歴閲覧を終了します。

#### 表示(V)

通話履歴データファイル選択 表示/非表示(L) .....

..... 通話履歴データファイル選択領域の表示/非表示を切り替えます。

絞り込み 表示/非表示(N) ..... 絞り込み領域の表示/非表示を切り替えます。

#### ツール(T)

テキストファイル出力(O) ..... 通話履歴一覧領域に表示されている内容をテキストファイル形式で出力します。

### ツールバー

..... 通話履歴データファイル選択領域の表示/非表示を切り替えます。

..... 絞り込み領域の表示/非表示を切り替えます。

..... 通話履歴一覧領域に表示されている内容をテキストファイル形式で出力します。

..... 設定画面を表示します。

### 通話履歴データファイル選択領域

通話履歴データファイルを編集/選択します。

☐ ボタンで参照する通話履歴データファイルを一覧に追加します。

☐ ボタンで選択している通話履歴データファイルを一覧から削除します。

☐ **編集** ボタンで選択している通話履歴データファイルを編集します。

### 絞り込み領域

時間帯および項目ごとに条件を指定して **絞り込み** ボタンをクリックしてください。

**リセット** ボタンをクリックすると全ての条件がクリアされます。

項目別の各項目の ☐ ボタンで項目を追加します。

項目別の各項目の ☐ ボタンで項目を削除します。

### 通話履歴一覧領域

通話履歴の一覧を表示します。

期間(年月日)を指定して **更新** ボタンをクリックすると指定した期間の通話履歴を表示します。

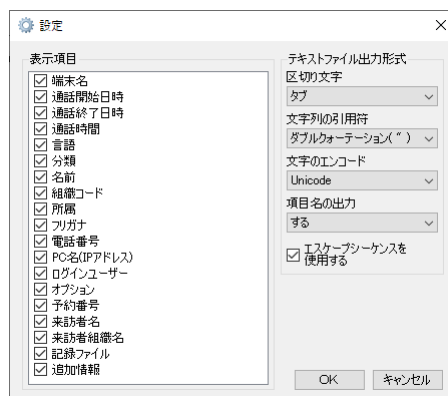
項目名をクリックすると昇順/降順で並べ替えができます。

### 詳細情報表示領域

通話履歴一覧領域で選択した行の詳細と通話時の内蔵カメラ映像を表示します。

内蔵カメラ映像をダブルクリックすると拡大表示ができます。

## ・ 設定画面



### 表示項目

通話履歴一覧領域で表示する項目を選択します。

### テキストファイル出力形式

出力するテキストファイルの形式を設定します。

## 5) 来訪予約 (来訪予約オプション)

### ・インストール方法

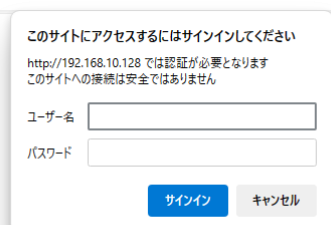
- ① 担当者のパソコンから WEB ブラウザーでコンコンコールの管理用ページにアクセスします。

管理用ページ URL: `http://xxx.xxx.xxx.xxx/ccc/Tools`

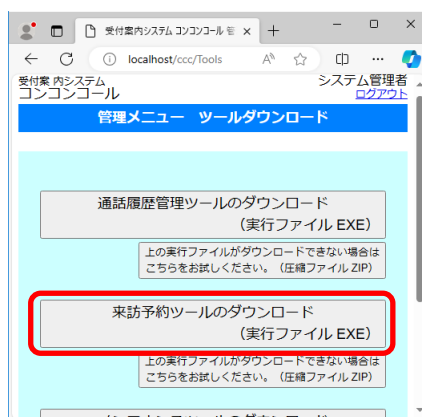
(xxx.xxx.xxx.xxx はコンコンコール本体の IP アドレス)

- ② 認証画面で組織の識別 ID とパスワードを入力してログインします。

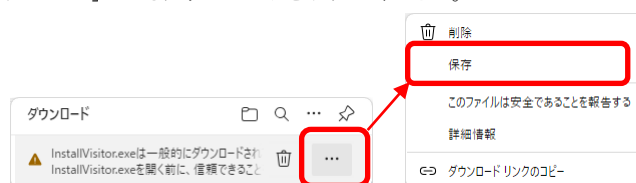
(デフォルト設定 ユーザー名: `admin` パスワード: `ComConCall`)



- ③ 管理メニュー ツールダウンロードで「来訪予約ツールのダウンロード(実行ファイル EXE)」をクリックしてメンテナンスツールをダウンロードします。



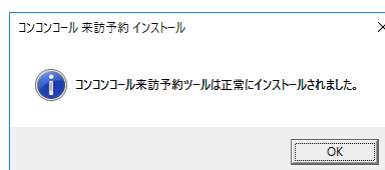
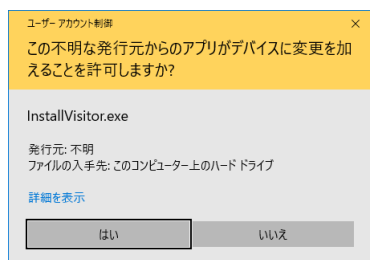
警告メッセージが表示される場合がありますが、そのままダウンロードを続行します。ダウンロードができない場合は「圧縮ファイル ZIP」によるダウンロードをお試しください。



Microsoft Edge の警告の例

- ④ ダウンロードしたファイルを開く(実行する)とインストールが開始され、インストールが完了すると終了メッセージが表示されます。

「ユーザーアカウント制御」の警告メッセージが表示される場合は、「はい」をクリックして続行します。



・ 起動方法

以下のいずれかで起動してください。

- ・ デスクトップ上の「コンコンコール Ver8.0 来訪予約」ショートカットアイコン- ・ Windowsのスタートメニューから **コンコンコール Ver8.0**—**コンコンコール Ver8.0 来訪予約** を選択します。

・ 来訪予約登録画面



メニューバー

管理(M)

**新規作成(N)** .....新しい来訪予約の作成を開始します。

**登録内容編集(E)** .....表示されている発行済みの来訪予約を編集します。

**来訪予約一覧(L)...** .....来訪予約一覧画面を表示します。

**終了(X)** .....来訪予約登録を終了します。

設定(S)

**対応者情報編集...** .....対応者情報編集画面を開きます。

**来訪予約データファイル変更...** ...来訪予約データを保存するファイルを変更します。

来訪予定者情報入力領域

来訪予定日時と来訪者の情報を入力します。

**履歴検索** ボタンをクリックすると過去に発行したことのある来訪者を一覧画面から選択できる来訪者履歴検索画面を表示します。

対応者情報選択領域

対応者と対応言語を選択します。

受付番号発行領域

有効期間を指定して **受付番号発行** ボタンをクリックすると来訪予定者情報入力領域と対応者情報選択領域で指定された情報をもとに受付番号を発行します。

**メール作成** ボタンをクリックすると既定のメーラーのメール作成画面を表示します。

**クリップボードにコピー** ボタンをクリックすると予め設定されたメール本文のテキストをクリップボードにコピーします。

## 2次元コード表示領域

発行した受付番号の2次元コードを表示します。表示された2次元コードをドラッグすることで2次元コードを画像ファイルとして扱えますので、メールへの添付やフォルダーへの保存が簡単に行えます。

**画像ファイルに保存** ボタンをクリックすると2次元コードを画像として保存できます。

**クリップボードにコピー** ボタンをクリックすると2次元コードを画像としてクリップボードにコピーします。

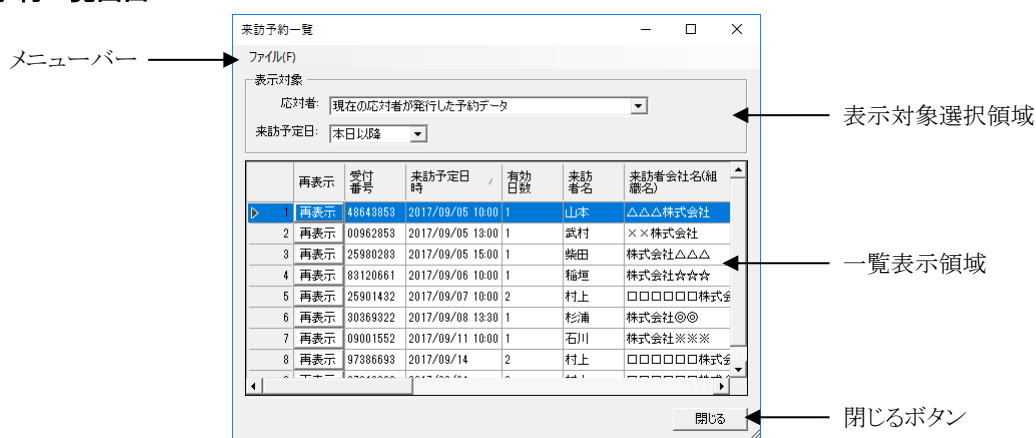
## 機能ボタン領域

**新規作成** ..... 新しい来訪予約の作成を開始します。

**登録内容編集** ..... 表示されている発行済みの来訪予約を編集します。

**閉じる** ..... 来訪予約登録を終了します。

## ・ 来訪予約一覧画面



## メニューバー

### ファイル(F)

**テキストファイルへ出力(O)...** ..... 一覧表示の内容を区切り記号や文字のエンコード形式を指定してテキストファイルに出力します。

**閉じる(C)** ..... 来訪予約一覧画面を閉じます。

## 表示対象選択領域

応対者 ..... 「現在の応対者が発行した予約データ」、「この端末に登録された応対者が発行した予約データ」、「全ての予約データ」のいずれかから選択された応対者の予約データを表示します。

来訪予定日 ..... 来訪予定日が「本日以降」、「1週間前」、「1ヶ月前」、「1年前」、「全て」のいずれかから選択された時期以降の予約データを表示します。

## 一覧表示領域

表示対象選択領域で指定された予約データの一覧を表示します。

**再表示** ボタンをクリックすると来訪予約登録画面にその内容を表示します。

## 閉じるボタン

来訪予約一覧画面を閉じます。

## ・ 来訪者履歴検索画面



|   | 表示 | 来訪者名 | 会社名(組織名)   | フリガナ | メールアドレス                | 応対者  | 応対言語 | 全 | ま |
|---|----|------|------------|------|------------------------|------|------|---|---|
| > | 表示 | 稲垣   | 株式会社☆☆☆    | イナガキ | ineaki@visitor.co.jp   | 三菱太郎 | 日本語  | あ | や |
| 2 | 表示 | 柴田   | 株式会社△△△    | シバタ  | shibata@visitor.co.jp  | 三菱太郎 | 日本語  | か | ら |
| 3 | 表示 | 杉浦   | 株式会社◎◎     | スギウラ | sugiuura@visitor.co.jp | 三菱太郎 | 日本語  | さ | わ |
| 4 | 表示 | 武村   | ××株式会社     | タケムラ | takemura@visitor.co.jp | 三菱太郎 | 日本語  | た | 英 |
| 5 | 表示 | 村上   | □□□□□□株式会社 | ムラカミ | murakami@visitor.co.jp | 三菱太郎 | 日本語  | は |   |
| 6 | 表示 | 山本   | △△△株式会社    | ヤマモト | yamamoto@visitor.co.jp | 三菱太郎 | 日本語  |   |   |
| 7 | 表示 | 石川   | 株式会社※※※    | 石川   | ishikawa@visitor.co.jp | 三菱太郎 | 日本語  |   |   |

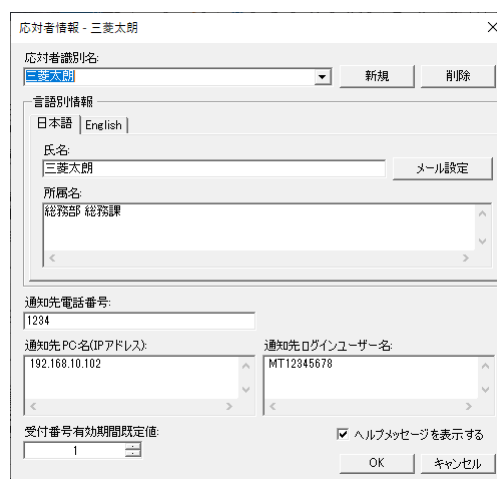
過去に発行したことのある来訪者を一覧表示します。

検索キーワードを入力し **検索** ボタンをクリックすることで「来訪者名」、「会社名(組織名)」、「フリガナ」、「メールアドレス」の項目に検索キーワードを含む来訪者データを絞り込みます。

インデックスタブをクリックするとそのタブの文字から始まるフリガナの来訪者を表示します。

**表示** ボタンをクリックすると現在選択された来訪者の情報を来訪予約登録画面の来訪者情報に表示します。

## ・ 応対者情報編集画面



### 応対者識別名

応対者情報選択画面に表示される応対者を識別する名前を指定します。

ドロップダウンからその他の応対者を選択し編集ができます。

**新規作成** ボタンをクリックすると新たな応対者を登録できます。

**削除** ボタンをクリックすると現在選択されている応対者を削除します。

### 言語別情報

応対者の氏名と所属名を言語別に指定します。

**メール設定** ボタンをクリックするとメール設定画面を開きます。

### 通知先電話番号・通知先 PC 名 (IP アドレス)・通知先ログインユーザー名

応対者を呼び出すための電話番号と映像ポップアップを表示するコンピューター端末のホスト名 (IP アドレス) を指定します。

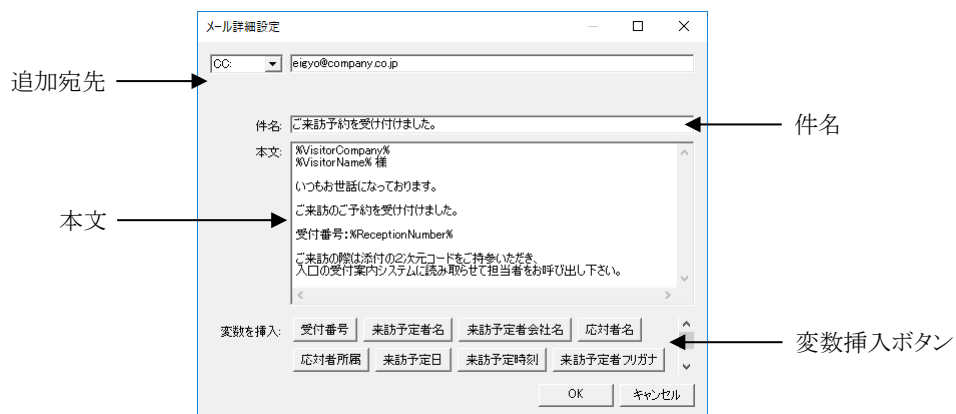
### 受付番号有効期間既定値

来訪予約登録画面の受付番号の有効期間に予め表示する日数を指定します。

### ヘルプメッセージを表示する

説明用のメッセージウィンドウの表示/非表示を指定します。

## ・メール設定画面



### 追加宛先

来訪予定者のメールアドレス以外に追加する送信先メールアドレスを指定します。

### 件名

「メール作成」で作成するメール件名の初期値を設定します。

### 本文

「メール作成」で作成するメール本文の初期値を設定します。

### 変数挿入ボタン

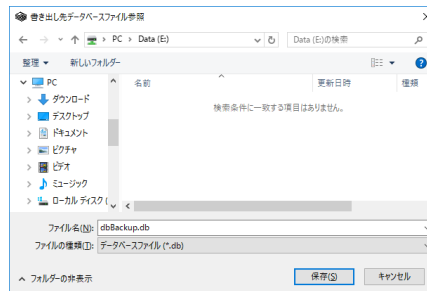
追加宛先や件名、本文のカーソル位置に来訪予約で登録した各種情報を表示する変数を挿入します。

## 7 データのバックアップ／復旧

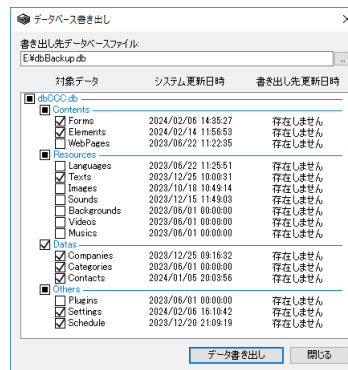
不慮の事故等で大切なデータが失われないよう、コンコンコールのメンテナンス後にデータのバックアップを行うことをお勧めします。

### 1) バックアップ

- ① 「コンコンコール システムメンテナンス」を起動します。
- ② メニューバーから **ファイル(F)－外部データベース書き出し(バックアップ)** を選択します。
- ③ 書き出し先を指定するウィンドウが表示されるので、任意の場所・ファイル名を指定し、**保存** をクリックします。  
(書き出し先を指定するウィンドウが表示されない場合は参照ボタン( **...** )を押すと表示されます)



- ④ 対象データを選択して **データ書き出し** をクリックします。



- ⑤ 書き出し終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

**参考:** 連絡先データは「Contacts」、スケジュール運転管理データは「Schedule」に対応します。その他のデータについてはカスタマイズ説明書の「2 システムメンテナンス」を参照してください。

### 2) 復旧

- ① メニューバーから **ファイル(F)－外部データベース取り込み(復旧)** を選択します。
- ② 取り込み先を指定するウィンドウが表示されるので、任意のファイル名を指定し、**開く(O)** をクリックします。  
(取り込み先を指定するウィンドウが表示されない場合は参照ボタン( **...** )を押すと表示されます)
- ③ 対象データを選択して **データ取り込み** をクリックします。
- ④ 取り込み終了のメッセージが表示されるので **OK** をクリックします。

**参考:** 復旧作業では、バックアップ作業時に処理対象グループで指定されたデータ以外に影響を与えることなく、バックアップを行ったデータのみを復旧します。そのためバックアップ／復旧作業を応用することで、複数のコンコンコールの間でデータを簡単に移行することができます。

## 8 こんなとき

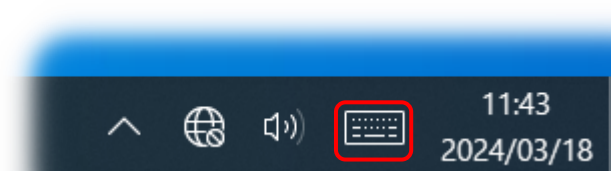
### 1) 文字を入力する(ソフトウェアキーボード)

Windows 画面で文字を入力する際にソフトウェアキーボードが使用できます。ソフトウェアキーボードには簡易的な「タッチ キーボード」と実際のキーボードに近い「スクリーン キーボード」があります。それぞれのキーボードの使用方は Windows のヘルプを参照してください。

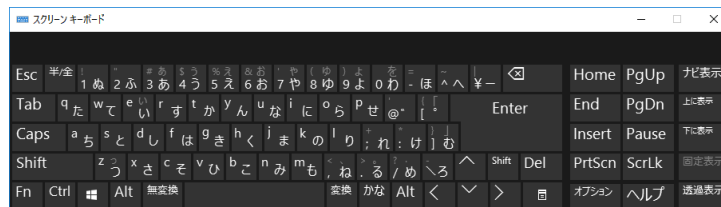
#### ・ タッチ キーボード



Windows 画面でタスクトレイ上のタッチキーボードアイコン(  )をクリックして起動します。



#### ・ スクリーン キーボード



Windows のスタートメニューから **Windows 簡単操作** - **スクリーンキーボード** をクリックして起動します。

### 2) 右クリック操作をする

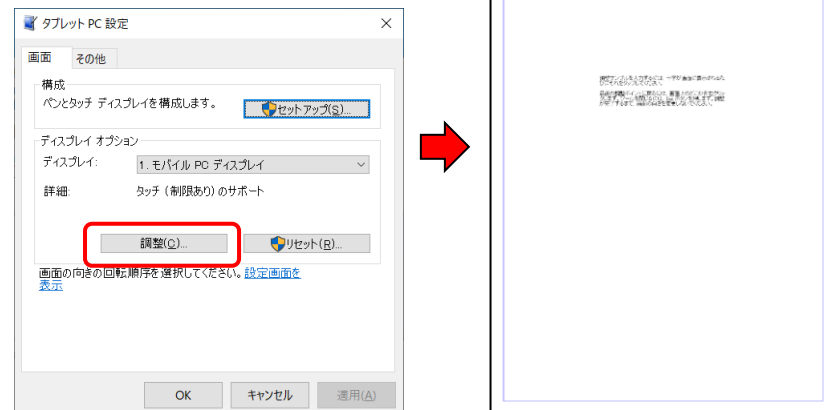
画面のタッチ操作でマウスの右クリックと同様の操作ができます。

- ① 右クリックしたい個所を長押しします。

### 3) タッチ位置を補正する(キャリブレーション)

タッチした点とポイントの位置がずれている場合は、以下の手順でタッチ位置の補正を行ってください。

- ① システムの保護を無効化します。(「**3 1) システムの保護について**」参照)
- ② Windows のコントロールパネルから「タブレット PC 設定」を開き、「調整 (C)」をクリックします。



- ③ 十字のポイントが表示されるので、画面の指示に従い順番にタッチします。
- ④ システムの保護を有効化します。(「**3 1) システムの保護について**」参照)

## 4) お手入れ



### 注意

お手入れの際は必ず電源を OFF にしてください。

電源プラグと電話回線のモジュラーコードをコンセントから抜いてください。

#### ◆ 外装清掃時

- 外装部分が汚れてきたら、中性洗剤をいれたぬるま湯(40℃以下)に浸した布を固く絞って拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取ってください。

#### ◆ タッチパネル清掃時

- タッチパネルが汚れてきたら、中性洗剤をいれたぬるま湯(40℃以下)に浸した布を固く絞って拭き、洗剤が残らないようきれいな布で拭き取ってください。

お願い: お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用すると変質・変色する原因になります。

(シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学雑巾の薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤)

お願い: タッチパネルにはガラスを使用していますので、拭き取る場合はタッチパネルに過度の力を加えないように注意してください。破損の原因となります。

お願い: 外装およびタッチパネル、受話器へ直接水分を吹きかけないでください。故障の原因となります。

## 5) 「故障かな？」と思ったら

コンコンコールが正しく動作しなくなった場合は、まずこの章をお読みにになり症状を確認してください。

### ◆ 起動に関するトラブル

| 症状      | 原因          | 対策方法                                                |
|---------|-------------|-----------------------------------------------------|
| 電源が入らない | 電源ケーブルの接続不良 | 電源ケーブルがコンセントまたは AC アダプターから抜けていないか、ゆるみなどがないか確認してください |

### ◆ 動作に関するトラブル

| 症状            | 原因                            | 対策方法                                                        |
|---------------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 音が出ない         | BGM がスタート画面以外で再生されない          | コンコンコールで BGM が再生されるのは動画画面とスタート画面だけです。一度スタート画面に戻してから確認してください |
|               | スピーカーの音量が最小になっている             | Windows のスピーカー音量調節ツマミを確認してください<br>(「3 3) 音量の調整」参照)          |
| 呼び出しが出来ない     | モジュラケーブルの接続不良                 | モジュラケーブルが抜けていないか、ゆるみが無いか確認してください                            |
|               | 電話回線のダイヤル方式がパルス               | 本機の設定をパルスに変更してください<br>(「3 4) 電話回線のダイヤル方式がパルスの場合」参照)         |
|               | アナログ回線でない                     | 電話工事の施工業者にアナログ回線への切り替えを依頼してください                             |
|               | 内線番号が登録されていない                 | 内線が登録されているか確認してください                                         |
| 通話にノイズが入る     | アース線が未接地                      | 電源コードのアース線を接地してください                                         |
| ネットワークの接続が不安定 | コンコンコールとパソコンを LAN ケーブルで直結している | コンコンコールとパソコンの間に LAN のハブを介すなどし、LAN ケーブルでの直結を避けてください          |
| ポップアップ画像が映らない |                               |                                                             |

## 9 付録

### 1) 保証とアフターサービス

#### ◆ お問い合わせ先

受付案内システムのアフターサービスは、下記窓口にご相談ください。

#### 弊社営業窓口

三菱電機エンジニアリング株式会社 営業統括部

##### 東日本営業支社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-13-5 (ヒューリック九段ビル)

TEL (03)3288-1108 FAX (03)3288-1575

##### 中日本営業支社

〒450-6046 名古屋市中村区名駅 1-1-4 (JRセントラルタワーズ)

TEL (052)565-3435 FAX (052)565-3137

##### 西日本営業支社

〒530-0003 大阪市北区堂島 2-2-2 (近鉄堂島ビル)

TEL (06)6347-2992 FAX (06)6347-2983

##### 中四国支店

〒730-0037 広島市中区中町 7-32 (ニッセイ広島ビル)

TEL (082)248-5390 FAX (082)248-5391

##### 九州支店

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-12-14 (紙与渡辺ビル)

TEL (092)721-2202 FAX (092)721-2109

(受付時間:平日9:00～17:00 土・日・祝・年末年始・弊社休日を除く)

#### 技術的な問合せ窓口

三菱電機エンジニアリング株式会社

中津川事業所

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野 3-40

TEL (0573)66-6872 FAX (0573)66-2563

(受付時間:平日9:00～17:00 土・日・祝・年末年始・弊社休日を除く)

#### 保守・サービス窓口

三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社 コールセンター

フリーダイヤル 0120-225-965

(受付時間:平日9:00～17:00 土・日・祝・年末年始除く)

#### ◆ 保証書について

受付案内システムのご利用を始める前に保証書に必要事項をご記入の上、大切に保管していただきますようお願いいたします。

保証書の紛失、記入漏れ等により弊社からお客様を確認できない場合、適切な保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意願います。

保証書は本書の最後にあります。

## 2) 仕様

### ◆ ハードウェア仕様

| 項 目                         |              |                              | 仕 様                                   | 備 考 |
|-----------------------------|--------------|------------------------------|---------------------------------------|-----|
| コン<br>ピ<br>ユ<br>ー<br>タ<br>ー | オペレーティングシステム |                              | Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise |     |
|                             | CPU          | CPU                          | Intel® Celeron® Processor J3455       |     |
|                             |              | クロック                         | 1.50GHz                               |     |
|                             | 記憶領域         | システムメモリ                      | 8GB                                   |     |
|                             |              | メモリー                         | 128GB SSD                             |     |
| 表<br>示                      | 表示機能         | 表示デバイス                       | TFTカラーLCD                             |     |
|                             |              | サイズ                          | 15.6 インチ 9:16                         |     |
|                             |              | 分解能                          | Hull HD (1080×1920 ドット)               |     |
|                             |              | 視野角                          | 89°（上下左右）                             |     |
|                             |              | 表示色                          | 16.7M                                 |     |
|                             |              | バックライト                       | LED                                   |     |
|                             |              | 輝度                           | 450cd/m <sup>2</sup>                  |     |
|                             | タッチパネル       |                              | 10points multi-touch P-Cap            |     |
| インターフェース                    | LAN          | 10 /100/1000BASE-TX RJ45 1ch |                                       |     |
|                             | USB          | USB2.0 2ch                   |                                       |     |
|                             | 電話回線         | モデム用アナログ電話回線 RJ11 1ch        |                                       |     |
|                             | 接点出力         | 無電圧a接点 2ch                   | b 接点への切り替え可                           |     |
| モデム                         | 通信方式         | 全二重                          |                                       |     |
|                             | 同期方式         | 調歩同期式(非同期)                   |                                       |     |
|                             | 適用回線         | 2線式アナログ電話回線                  |                                       |     |
|                             | ダイヤル形式       | パルス(10/20pps),トーン            |                                       |     |
|                             | インターフェース     | RS-232C                      |                                       |     |
| 受話器                         | 受話音量切替       | 2段階                          |                                       |     |
|                             | 適用回線         | 2線式アナログ電話回線                  |                                       |     |
| スピー<br>カー                   | タイプ          | フルレンジスピーカ                    |                                       |     |
|                             | インピーダンス      | 8Ω                           |                                       |     |
|                             | 最大出力         | 0.5W                         |                                       |     |
|                             | 周波数特性        | 250Hz～10,000Hz               |                                       |     |
|                             | スピーカー直径      | 50mm                         |                                       |     |
| 内蔵カメラ<br>(人感センサー)           | 撮像素子         | 1/4 インチ CMOS カラーセンサ          |                                       |     |
|                             | 総画素数         | 640×480pixels                |                                       |     |
|                             | 出力信号形式       | USB 2.0                      |                                       |     |
|                             | 画角           | 90.7°（水平）、67.8°（垂直）          |                                       |     |
|                             | 機能           | 自動露出・オートホワイトバランス             |                                       |     |
| 電源                          | 電源電圧         | AC100V±10% 50/60Hz           |                                       |     |
|                             | 消費電力         | 90W 以下(省電力モード時 13W 以下)       |                                       |     |
| 環境条件                        | 使用周囲温度       | 0℃～35℃                       |                                       |     |
|                             | 使用湿度         | 20%～80%RH(結露なきこと)            |                                       |     |

◆ ソフトウェア仕様

| 項 目  |                         |              | 仕 様                                                                              | 備 考             |
|------|-------------------------|--------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 動作環境 | 本体                      | オペレーティングシステム | Microsoft® Windows® 10 IoT Enterprise (64bit)                                    |                 |
|      |                         | プラットフォーム     | Microsoft® .Net Framework 4.6                                                    |                 |
|      |                         | 規定のフォルダー     | C:\Program Files (x86)\ComConCall                                                |                 |
|      | 管理用 PC                  | オペレーティングシステム | Microsoft® Windows® 10 以上 (32bit/64bit)                                          |                 |
|      |                         | プラットフォーム     | Microsoft® .Net Framework 4.6 以上                                                 |                 |
|      |                         | 規定のフォルダー     | (32bit) C:\Program Files\ComConCall<br>(64bit) C:\Program Files (x86)\ComConCall |                 |
| 構成   | メイン                     |              | CCCMMain.exe                                                                     |                 |
|      | 管理メニュー                  |              | CCCMMenu.exe                                                                     |                 |
|      | データメンテナンス               |              | CCCDDataMaint.exe                                                                |                 |
|      | システムメンテナンス              |              | CCCSysSystemMaint.exe                                                            |                 |
|      | スケジュール運転管理              |              | CCCSchedule.exe                                                                  |                 |
|      | カメラキャプチャー               |              | CCCCamCap.exe                                                                    | 本体のみインストール      |
|      | メッセージポップアップ ※1          |              | CCCPopup.exe                                                                     | 管理用 PC のみインストール |
|      | 統合サーバー                  |              | CCCITServer.exe                                                                  | 本体のみインストール      |
|      | 通話履歴管理 ※1               |              | CCCCallLogView.exe                                                               |                 |
|      | 来訪予約 ※2                 |              | CCCVisitor.exe                                                                   | 管理用 PC のみインストール |
|      | 来訪予約設定 ※2               |              | CCCRNReader.exe                                                                  | 本体のみインストール      |
|      | 入館票印刷 ※3                |              | LabelPrint.exe                                                                   | 本体のみインストール      |
|      | 動体検知感度調整                |              | MotionDetectConfig.exe                                                           | 本体のみインストール      |
|      | Unified Write Filter 設定 |              | UWFUtil.exe                                                                      | 本体のみインストール      |
|      | I/O チェッカー               |              | ComIOCheck.exe                                                                   | 本体のみインストール      |

※1:スペシャルプランの場合のみ ※2:来訪予約オプションを採用された場合のみ

※3:入館票発行オプションを採用された場合のみ

# システム使用許諾契約

## 第1条(使用権)

弊社は本契約により、使用者に対し使用権を与えることに同意し、使用者は以下の各条項を承諾し、この使用権を契約者以外に譲渡せず、且つ独立的な使用権を持たないことに同意します。ただし、契約者がこの使用契約書、本システムのすべての複製物および付属するすべての印刷物を譲渡し、一切のコピーを保持せず、且つ譲受人がこの契約書の条項に同意した場合に限り、契約者はこの使用契約書に基づく契約者の権利を譲渡することができます。使用者が本契約に違反した時は、弊社は使用者の使用権を終了させることができます。

## 第2条(ソフトウェアの複製)

使用者は本件ソフトウェアの全部または、一部を複製してはならないものとします。ただし、次の(1)号に該当する場合に限り複製することができます。

- (1) 本件ソフトウェアの安全対策上の理由により、ソフトウェア登録カードに定める電子計算機(以下「指定計算機」という)に限定し使用する目的で複製することができます。ただし、弊社が本件ソフトウェアの複製を可能にする手当てをしてあるソフトウェアに限られます。

## 第3条(指定計算機以外での使用)

使用者はソフトウェア登録カードに定める指定計算機以外で使用しないものとします。ただし、次の各号に該当する場合は、その事態が消滅するまでの期間、指定計算機以外の計算機で一時的に使用することができます。

- (1) 指定計算機が保守点検、調整、故障等の作業のため使用できない場合
- (2) 指定計算機の据付が完了していない場合

## 第4条(責任の制限)

- (1) 弊社は本件ソフトウェアが使用者の特定の目的のために適当または有用であることについての保証はしません。
- (2) 弊社は使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者の損害あるいは第三者から使用者に対する請求に対して一切の責任を負いません。

## 第5条(本件システムの仕様変更)

本件システムを使用者が改変することは、弊社の文章による許可がない限り許容しません。また弊社は使用者によって改変されたシステムに関しては一切の責任を負いません。

## 第6条(著作権)

本件システムの著作権は、弊社に帰属します。第2条に規定する複製物についても、その著作権は著作権者に帰属します。ただし、本件ソフトウェアが記録されている記録媒体は著作権者には帰属しません

## 第7条(契約期間)

本契約は使用者が本件システムのパッケージを開封した時から、下記に定める各号により効力がなくなるまで有効に存続するものとします。

- (1) 使用者が本件システムの使用を終了させた時。
- (2) 使用者が本契約に違反し、弊社が使用者の使用権を終了させた時。

## 第8条(海外持出の禁止)

使用者は、事前に弊社の文章による許可がない限り、本件システムを日本国外に持ち出しあるいは送付してはならないものとします。

## 第9条(終了)

本契約による使用権を終了する場合、本件システムのオリジナルおよび複製物、印刷物等のすべてを破壊するか、弊社に返送するものとします。なお、破壊および返送のためのすべての費用は使用者が負担するものとします。



# 保証書

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ずお買い上げ日、代理店名、ご住所、電話番号の記入をご確認ください。

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 型名 CA-15 | 製造番号            |
| 保証期間 1 年 | お買い上げ日 年 月 日    |
| お客様名     | 代理店名・住所・TEL・担当者 |
| 住所 〒     |                 |
| TEL ( )  |                 |

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

## <保証条件>

ご使用に際しましては、裏面の製品保証内容をご確認いただきますようお願いいたします。

## 無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に、製品に当社の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合、保守・サービス窓口または当社営業窓口もしくはお買い上げいただきました販売店にご連絡いただき、本保証書の記載内容にもとづき当社で製品の修理または製品交換を行います。（消耗品は除きます）なお、製品交換の場合、新品もしくは同等の再調整品となり、製造番号が異なりますのでご了承ください。

### ■無償保証期間

製品の無償保証期間は、お買い上げ日または納入日より 2 年間とさせていただきます。

また製品の無償保証期間は、修理前もしくは製品交換前の無償保証期間を越えて長くなることはありません。

### ■無償保証範囲

- (1) 使用状態、使用方法および使用環境などが、取扱説明書、カスタマイズ説明書、製品本体注意ラベルなどに記載された条件、注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。
- (2) 無償保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。
  - ① 保証書をご提示されないとき。
  - ② 本保証書の所定事項未記入、記載内容の書き換えられたもの
  - ③ お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取扱いが不適切なため生じた故障または損害。
  - ④ お客様における不適切な保管や取り扱い、不注意、過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
  - ⑤ お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
  - ⑥ 火災、異常電圧などの外部要因および地震、雷、風水害、その他の天災地変など不可抗力による故障。
  - ⑦ 消耗品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。
  - ⑧ 当社製品がお客様機器に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
  - ⑨ 当社出荷当時の科学技術水準では予見できなかった事由による故障。
  - ⑩ その他、当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

## 機会損失・二次損失などへの補償責務の除外など

無償保証期間の内外を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。製品の無償修理をもってお客様に対する法律上または契約上発生する当社の責任の全てといたします。

### 消耗品について

製品に使用している構成機器には、定期的に交換が必要な部品や、場合によりオーバーホールが必要な部品があります。（バックライト、時計機能用ボタン電池）

### 生産中止後の有償修理期間

当社が有償にて部品修理を受け付けることができる期間は、その機種（製品）の生産中止後 6 年間です。生産中止に関しては、当社営業窓口または当社 Website 上にて報じさせていただきます。

### 製品仕様の変更

カタログ、マニュアルもしくは技術資料に記載されている仕様は、断りなしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### 修理に関するお願い

- (1) 修理に際し、お客様のプログラムやデータが消失する場合がありますので、お客様であらかじめプログラムやデータのバックアップをお願いいたします。
- (2) 製品内に保存されたお客様の固有データ（機密情報など含む）は、製品交換などで移し変えが必要となる場合がありますが、特にご指示がない場合は、機密保持をする前提でお客様の了解をいただいたものとして作業を実施いたします。

機密管理などが必要な場合は、データを削除するなどの事前処置を実施してください。
- (3) 不具合の迅速な復旧のため、製品（部品）の交換を行う場合の製品（部品）は再調整品となり、製造番号が異なりますのでご了承ください。
- (4) 有償修理後の修理該当箇所に対しては6ヵ月間無償保証いたします。
- (5) お客様にて上記(1)(2)の措置を実施しなかった場合は、当社は何ら責任を負わないものといたします。



輸出管理に関するお願い

当システム実現するためのコンピューターやソフトウェアによっては、輸出貿易管理令別表第1の8の項、貨物等省令第7条第一号第八に該当する貨物となりますので、当システム及びパソコンを海外在住者、海外法人など非居住者に提供する場合には、外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第48条第1項に基づく役務取引許可輸出許可が必要となります。

Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されているプログラム名、CPU 名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

---

## 受付案内システム 取扱説明書

発行日      2024 年 4 月      （初版発行）

発行責任    三菱電機エンジニアリング株式会社

〒508-0015 岐阜県中津川市手賀野 3-40

---

本プログラムおよびマニュアルは無断で複製することを禁止します。

本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

53A952B2501